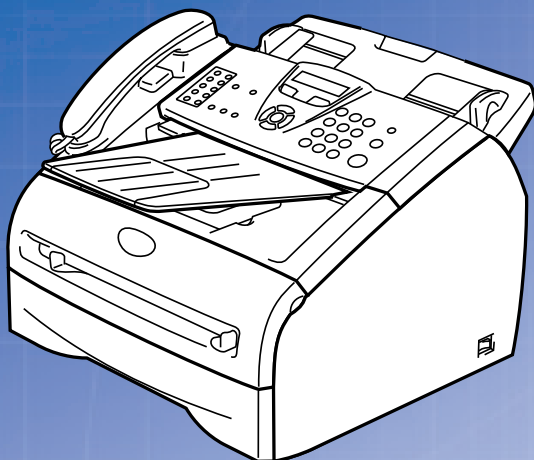


FAX-2930

ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。



ユーザーズガイド (CD-ROM)

本製品の使い方に加え、パソコンとつないだときの詳しい使い方をすばやく探せます。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

- 1 7章「こんなときは」で調べる

P.125

2

サポート ブラザー

検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
<http://solutions.brother.co.jp/>

ブラザーマイポータル

オンラインユーザー登録をお勧めします。
<https://myportal.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

本書の使い方・目次

ご使用の前に

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

レポート・リスト

コピー

こんなときは

付録(索引)

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。ユーザーズガイド（HTML版）の詳しい説明は、「ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作」P.23 を参照してください。

冊子

はじめにお読みください

「かんたん設置ガイド」



- ・ 設置する
- ・ パソコンへの接続
- ・ ドライバのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」(本書)



- ・ ファクスを送る
- ・ コピーする
- ・ 日常のお手入れ
- ・ 消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます



「ユーザーズガイド」(HTML版)

HTML (CD-ROM)

以下の内容が含まれています

■ 「ユーザーズガイド」

- ・ ファクス/プリンタ/コピーの使いかた
- ・ トラブルがおきたときの対処方法
- ・ 消耗品の注文

■ 「パソコン活用ガイド」

- ・ プリンタとして使う
- ・ パソコンからファクスを送信する



サポートサイトからダウンロードしてください

PDF

「ユーザーズガイド」

「パソコン活用ガイド」

「かんたん設置ガイド」

ユーザーズガイド (HTML版) を閲覧するには

CD-ROMに収録されているユーザーズガイド (HTML版) を閲覧したいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

パソコンにドライバをインストールすると、ユーザーズガイド (HTML版) も自動的にインストールされます。

- 1 画面左下の「スタート」メニューから、「プログラム (すべてのプログラム)」 - 「Brother」を選択する
- 2 本製品の機種名「FAX-2930」を選択する
- 3 「ユーザーズガイド」を選択して、クリックする
ユーザーズガイド (HTML版) が表示されます。

補足

付属のCD-ROMからもユーザーズガイド (HTML版) を閲覧することができます。メイン画面が表示されたら、「取扱説明書閲覧」 - 「ユーザーズガイド」を選んでください。

Macintosh® の場合

- 1 付属のCD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットする
- 2 「Documentation」をダブルクリックする
- 3 「fax2930_jpntop.html」をダブルクリックする
ユーザーズガイド (HTML版) が表示されます。

最新のドライバや、ファームウェア (本体ソフトウェア) を入手するときは?

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。

最新のドライバやファームウェアをサポートサイト (ブラザーソリューションセンター) よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア (本体ソフトウェア) を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、<http://solutions.brother.co.jp/> へ

目次

ユーザズガイドの構成	2
ユーザズガイド (HTML 版) を閲覧するには	3
最新のドライバや、ファームウェア (本体ソフトウェア) を入手するときは?	3
目次	4
やりたいこと目次	10
ファクス	10
コピー	11
プリンタ	12
安全にお使いいただくために	15
ユーザズガイド (HTML 版) の表示画面と操作	23
本書の表記	25
マークについて	25
編集ならびに出版における通告	25
本書の読みかた	26

第 1 章 ご使用の前に.....27

かならずお読みください

各部の名称とはたらき	28
操作パネルの名称とはたらき	28
各部の名称	30
液晶ディスプレイの特徴	31
液晶ディスプレイについて	31
ファクスモードの標準画面	31
コピーモードの標準画面	31
案内メッセージ (エラーメッセージ例)	31
液晶ディスプレイの表示言語を設定する [英語・日本語]	31
機能設定する	32
ナビゲーションキーを使った基本操作	32
ダイヤルボタンを使った基本操作	32
記録紙について	33
推奨紙	33
セットできる記録紙の種類	33
セットできる記録紙サイズと枚数	34
記録紙の印刷可能範囲について	34
記録紙トレイに記録紙をセットする	36
手差しスロットから印刷する	37
原稿について	38
原稿サイズ	38
原稿の読み取り範囲	38
モードについて	40
モードタイマーを設定する	40
回線種別を設定する	41
自動で回線種別を設定する	41

手動で回線種別を設定する.....	42
利用中の電話回線の種別を調べる.....	42
ご使用前の設定をする.....	43
日付・時刻を合わせる〔時計セット〕.....	43
名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕.....	44
発信元登録を消去する.....	44
受信モードについて.....	45
受信モードの種類.....	45
お使いの電話機を本製品と接続しない場合.....	45
お使いの電話機を本製品と接続する場合.....	46
受信モードを選ぶ.....	49
受信モードを設定する.....	49
呼出回数を設定する.....	50
再呼出回数を設定する.....	50
本製品の接続イメージ.....	51
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）.....	51
公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）.....	51
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つの場合）.....	52
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つの場合）.....	52
ADSL 環境に接続する場合.....	53
ひかり電話に接続する場合.....	54
デジタルテレビを接続する場合.....	54
構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合.....	55
内線電話として接続する場合.....	55

必要に応じて設定してください

基本設定を変更する.....	56
記録紙のタイプを選ぶ.....	56
記録紙のサイズを選ぶ.....	56
着信音量を設定する.....	57
ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量&ブザー音量〕.....	57
スピーカー音量を設定する.....	58
受話音量を設定する.....	58
トナーを節約する〔トナーセツヤクモード〕.....	59
スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕.....	59
液晶ディスプレイのコントラストを調整する.....	60
セキュリティ機能の設定について.....	61
操作ロックとは.....	61
設定ロックのしかた.....	62
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する.....	64
ナンバー・ディスプレイサービスとは.....	64
特別設定について.....	66
特別回線対応を設定する.....	66
ダイヤルトーン検出の設定をする.....	66
安心通信モードを設定する.....	67

第2章 ファクス 69

ファクス送信

ファクスを送る	70
ファクスを自動で送信する	70
ファクスを手動で送信する	71
ファクス送信を途中で止める	71
通話後にファクスを送信する	71
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕	71
便利にダイヤルする	72
ダイヤルのしかた	72
電話帳から送信する	73
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕	74
ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）の設定について ...	75
直接入力を制限する	75
ワンタッチダイヤルを制限する	75
短縮ダイヤルを制限する	75
ファクスの便利な送りかた	76
画質を設定する	76
原稿濃度を設定する	77
送付書を付けて送信する	78
送付書のオリジナルコメントを登録する	79
同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕	79
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕	80
相手の操作で原稿を送信する	81
海外へ送信する〔海外送信モード〕	83
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	84
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕	84
ファクス送信待ちを確認または解除する	85

ファクス受信

ファクスを受信する	86
自動的に縮小して印刷する	86
印刷の濃さを設定する	86
メモリー代行受信について	87
手動でファクスを受信する	87
通話後にファクスを受信する	87
親切受信で受信する	88
本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕	89
リモート受信設定のしかた	89
本製品の操作で相手の原稿を受信する	90

第3章 電話帳..... 93

電話帳

電話帳を作成する.....	94
ワンタッチダイヤルを登録する.....	94
ワンタッチダイヤルを変更する.....	95
短縮ダイヤルを登録する.....	96
短縮ダイヤルを変更する.....	97
グループダイヤルを登録する.....	98
グループダイヤルを変更する.....	99

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する.....	100
着信履歴を確認する.....	100
着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する.....	100

第4章 転送・リモコン機能..... 101

転送機能

電話呼び出し機能とファクス転送.....	102
電話呼び出し機能とファクス転送について.....	102
ファクス転送の流れ.....	102
ファクス転送を設定する.....	103
電話呼び出し機能の流れ.....	104
電話呼び出し機能を設定する.....	105
ファクスをメモリーで受信する.....	106
メモリー受信を設定する.....	106
メモリーに受信したファクスを印刷する.....	106

リモコン機能

外出先から本製品を操作する：リモコンアクセス.....	107
暗証番号を設定する.....	107
外出先から本製品を操作する.....	107
リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕.....	109

第5章 レポート・リスト..... 111

レポート・リストの印刷.....	112
送信レポートを印刷する.....	113
機能案内リストを印刷する.....	113
電話帳リストを印刷する.....	113
通信管理レポートを印刷する.....	113
設定内容リストを印刷する.....	114
着信履歴リストを印刷する.....	114
送信レポートの出力設定.....	114
通信管理レポートの出力間隔を設定.....	115

第6章 コピー 117

コピーをする

コピーをする	118
コピーする	118
「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは	119

コピー設定

一時的に設定する	120
拡大・縮小コピーをする	120
コピーの画質を設定する	121
コントラストを調整する	121
ソートコピーかスタックコピーかを設定する	122
N in 1 コピー	123
N in 1 コピーのしかた	123
設定内容を保持する	124
画質の設定を変更する	124
コントラスト設定を変更する	124

第7章 こんなときは 125

日常のお手入れ

紙づまりについて	126
紙づまりのときのメッセージ	126
ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは	127
前面に記録紙がつまったときは	127
背面に記録紙がつまったときは	128
定期メンテナンス	130
スキャナ（読み取り部）の清掃	131
スキャナウィンドウの清掃	131
ドラムユニットのお手入れ	132
給紙ローラーの清掃	133

消耗品の交換

トナーカートリッジとドラムユニットについて	134
トナーカートリッジの交換	135
トナーカートリッジ交換のメッセージ	135
トナーカートリッジ交換のしかた	137
ドラムユニットの交換	139
ドラムユニット交換のしかた	140

製品情報

製品情報	141
シリアル番号を確認する	141
印刷枚数を確認する	141
ドラム寿命を確認する	141
本製品の廃棄について	141

設定機能の初期化

初期状態に戻す	142
---------------	-----

困ったときには

困ったときには	143
こんなときには	143
エラーメッセージ	144
故障かな？と思ったら	147
動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）	158

第8章 付 録 159

文字入力をする	160
バックアップ用バッテリーのリサイクルについて	161
バックアップ用バッテリーの取り外し方	161
機能一覧	162
本製品の仕様	168
ファクシミリ	168
プリンタ	169
電源と使用環境	169
消耗品	169
主な仕様	170
パソコン環境〔Windows®〕	170
パソコン環境〔Macintosh®〕	171
用語集	172
索 引	175
ご注文シート	181
アフターサービスのご案内	裏表紙
商標について	裏表紙

その他の機能 CD-ROM

ユーザズガイド（HTML 版）をみてください。

- ファクス
- プリンタ
- コピー
- パソコン活用

やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

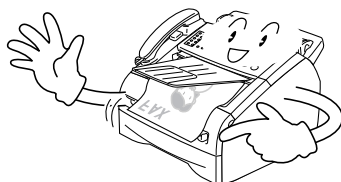
ファクス

簡単に送信したい。
(ワンタッチダイヤル、短縮
ダイヤル、グループダイヤル)

P.72



自動で受信したい。
(自動受信) P.45

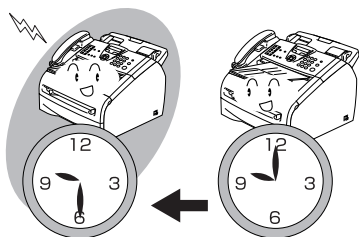


画質を調整したい。
(画質調整) P.76

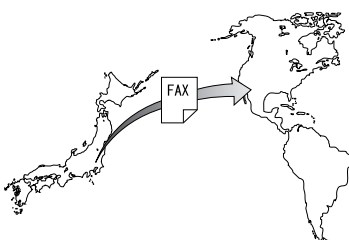
ファクス画質



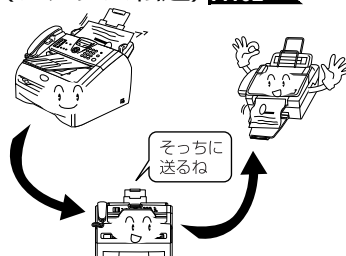
指定した時刻に送信したい。
(タイマー送信) P.84



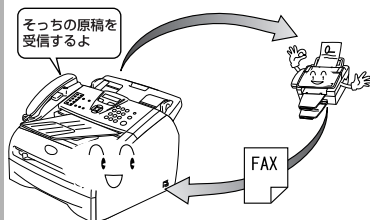
海外に送信したい。
(海外送信) P.83



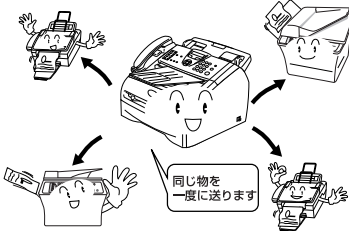
外出先で受信したい。
(ファクス転送) P.102



受信側ファクシミリからの
操作で原稿を受け取りたい。
(ポーリング) P.90



複数の相手に同じ文書をま
とめて送信したい。
(同報送信) P.79

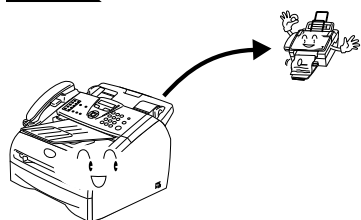


ナンバー・ディスプレイ機
能を使いたい。
P.64



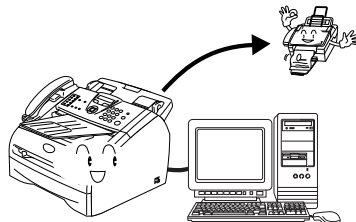
ファクスを送信する前に番号を確認してから送りたい。

P.75



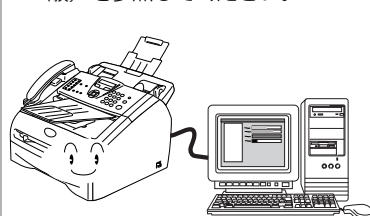
パソコンからファクスを送信したい。

詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

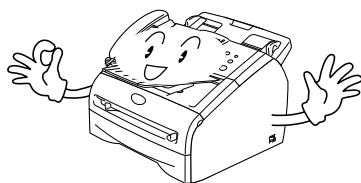


パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

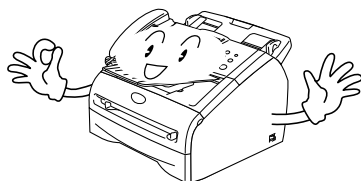


ユーザーごとに使える機能を制限したい。P.61



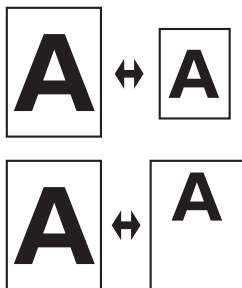
コピー

たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P.118



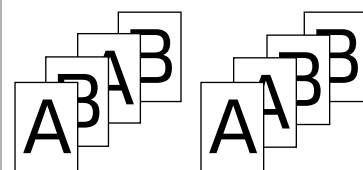
拡大/縮小コピーしたい。

P.120



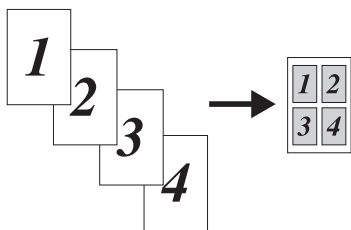
効率よく複数部コピーしたい。P.122

ソートコピー スタックコピー



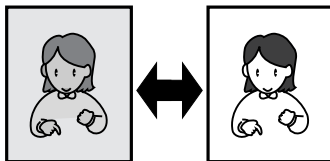
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。(2 in 1、4 in 1)

P.123



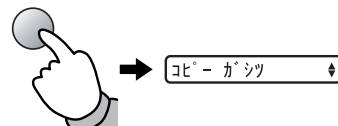
コントラストを変えたい。

P.121、P.124



画質をきれいにコピーしたい。P.121、P.124

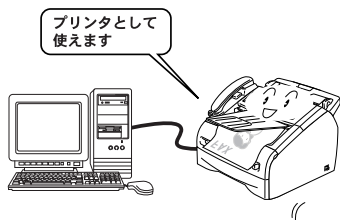
オプション



プリンタ

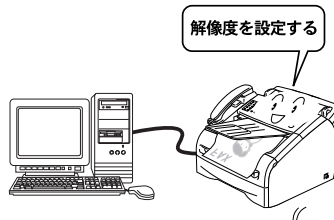
プリンタとして使いたい。

詳しくはユーザズガイド (HTML版) を参照してください。



カスタム設定をしたい。

詳しくはユーザズガイド (HTML版) を参照してください。



トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー 回収

検索

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

VCCI規格

この機器は、クラスB情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。

製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。



警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

放散に関する認定基準

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマークNo.122「プリンタVersion2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しているTN-25Jを使用し、モノクロ印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62：2002の付録3～5に基づき試験を実施しました。）

オゾン：0.02mg/m³以下、粉塵：0.075mg/m³以下、スチレン：0.07mg/m³以下

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザーサービス エクスプレス



複合機

1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。**※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **7日以内に修理品を返送。**
弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

※各サービスパックについては、[出張修理]か[取引修理]を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。※取引修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
取引修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。

TEL : 052-824-3253

http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示しています。		「分解してはいけないこと」を示しています。		「水ぬれ禁止」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「しなければいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。		「アースをつなぐこと」を示しています。		
	「感電の危険があること」を示しています。		「火災の危険があること」を示しています。		「やけどの危険があること」を示しています。		

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口へご連絡ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイド等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ **P.181** へご注文ください。

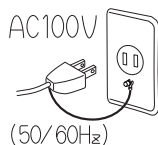
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

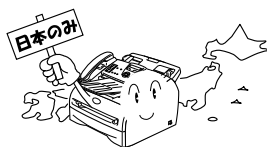
⚠ 警告

火災や感電、やけど、故障の原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。
DC電源やインバータ(DC-AC変換装置)を接続して使用しないでください。
本製品を接続するコンセントがAC電源またはDC電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方に相談ください。



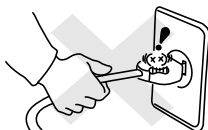
国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

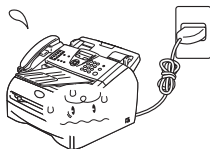


本体内部には高圧電流が流れています。本体の内部を清掃するときは、電話線を外した後、電源コードを抜いてください。また電源コードを抜くときは、コードを引っばらずにプラグの本体(金属でない部分)を持って抜いてください。



電源コードを破損するようなことはしないでください。
以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- ・加工する
- ・無理に曲げる
- ・高温部に近づく
- ・引っ張る
- ・ねじる
- ・たばねる
- ・重いものをのせる
- ・挟み込む
- ・金属部にかける
- ・折り曲げをくり返す
- ・壁に押しつける



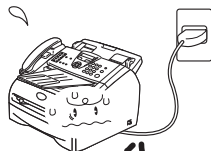
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。



タコ足配線はしないでください。



本製品を電源コードの上にのせないでください。



アース線を取り付けてください

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧(雷など)がかかったとき本製品を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。
アース線の接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチをOFFし、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。



■ 取り付けられるところ

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事(第3種)が行われているアース端子

■ 絶対に取り付けてはいけないところ

- 電話専用アース線
- 避雷針
- ガス管



電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布でふいてください。
プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因となります。



アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護機能が無効になります。



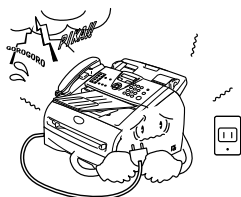
同梱されている電源コードセットは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットを本製品に使用しないでください。



⚠ 注意

故障の原因となります。

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

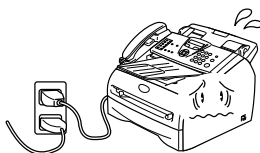


いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。



! お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。



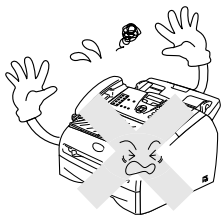
このような場所に置かないで

⚠ 警告

以下の場所には設置しないでください。火災や感電、故障や変形の原因となります。

水のかかる場所や湿度の高い場所

ふる場や加湿器などのそばに設置しないでください。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



火気や熱器具、揮発性可燃物、アルコール、シンナーなどの近くには設置しないでください。



⚠ 注意

故障や変形の原因となります。

温度の高いところ

直射日光のあたるところ、暖房設備などのそば、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。結露するおそれがあります。
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10～32.5℃

湿度：20～80%

(結露なし)

- ◎ エアコン、換気口などの近く
- ◎ ホコリ、鉄粉の多い場所
- ◎ じゅうたんやカーペットの上



不安定な場所

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所など



油飛びや湯気の当たる場所

調理台などのそば

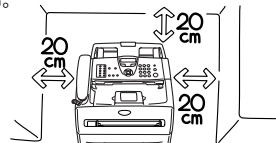


換気の悪い場所

換気の悪い場所で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり快適な環境が保てない原因となります。印刷動作中には化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分に行ってください。
また、本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

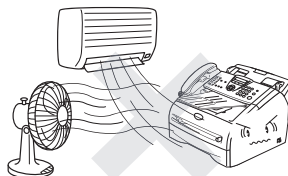
壁のそば

本製品を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



風が直接当たる場所

扇風機、クーラー、換気口など



！ お願い

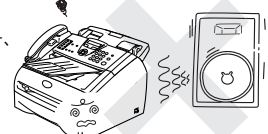
故障や変形の原因となります。

いちじろしく低温場所には設置しないでください。(製氷倉庫など)



磁気の発生する場所

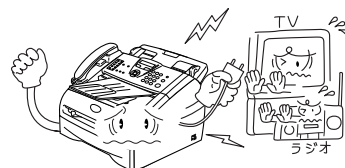
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど



電波障害時の対処

近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本製品をテレビから遠ざける。
- 本製品またはテレビなどの向きを変える。
- 本製品をコードレス電話の親機から遠ざける。



もしもこんなときには

⚠ 警告

下記の状況でそのまま使用すると火災や感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

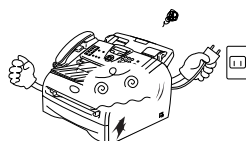
煙が出たり、臭いがしたとき

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



本製品を落したり、破損したとき

電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



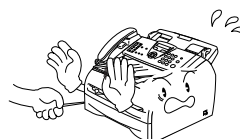
内部に水が入ったとき

本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、まためらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



内部に異物が入ったとき

電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



電源プラグやインレットに水などの液体がかかったときは、電源コードをコンセントから抜いて、きれいにふき取ってお使いください。



その他のご注意

⚠ 警告

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

分解や改造はしないでください。

修理などはコールセンターにご相談ください。法律で罰せられることがあります。



専門サビズマンへ！



火気を近づけないでください。

故障や火災、感電の原因となります。



本製品に水や薬品などの液体が入ったりしないよう、まためらさないようご注意ください。



本製品を清掃する際、アルコールなどの有機溶剤や液体、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど



⚠ 警告

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

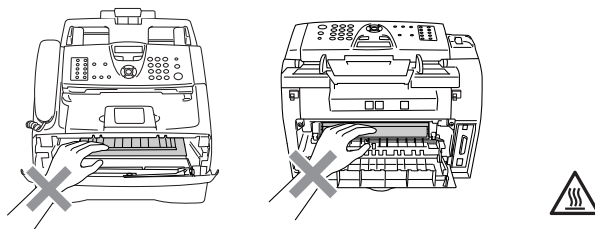
本製品を梱包していたビニール袋などは、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

心臓ペースメーカーをお使いの方は、異常を感じたときは本製品から離れてください。

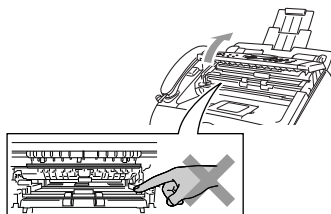
⚠ 注意

故障や変形、やけど、けがの原因となります。

本製品を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。フロントカバーやバックカバーを開けるときは、グレーの部分には絶対に触らないでください。やけどのおそれがあります。



図に示すところに指や手などははさまないようにしてください。



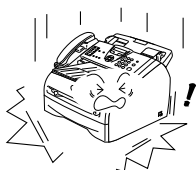
長期間不在にするときは、安全のためにも電源コードをコンセントから抜いてください。

本製品の上に物を置いたり、強く押さえたりしないでください。

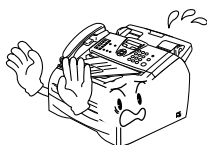
！ お願い

故障や変形の原因となります。

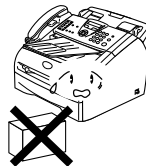
落下、衝撃を与えないでください。



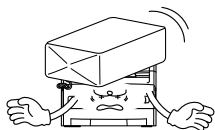
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



本製品の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。



本製品の上に物を置かないでください。



指定以外の部品は使用しないでください。



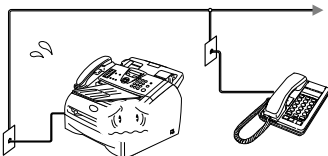
電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの電話会社の支店、営業所へご相談ください。



海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。



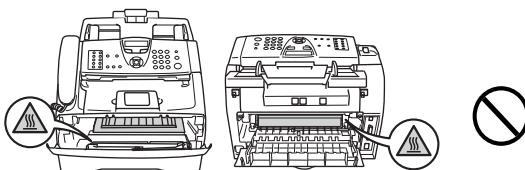
ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
1つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。



本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

本製品の内部に貼られているラベルは、はがさないでください。



停電がおきたときは

！ お願い

● 次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後4日間保持されます。

- 送信メモリー文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書

● 次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。

- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

停電復旧時について

4日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

停電中は使用できません。

本製品はAC電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。



記録紙について

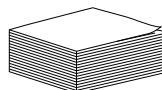
！ お願い

使用する記録紙にはご注意ください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙、広告紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。



トナーについて

⚠ 警告

ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。

トナーに引火して、火災やけどの原因となります。

こぼれたトナーはほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。

掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、爆発する恐れがあります。

！ お願い

トナーカートリッジを無理に開けないでください。

トナーの粉末が漏れ出すおそれがあります。

トナーの粉末が漏れ出した場合には、トナーの粉末の吸引および皮膚への接触は避けてください。

トナーカートリッジは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。

万が一、お子様がトナーの粉末を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

トナーの粉末に接触した場合の対処

● 衣服や皮膚に付着した場合

石けんを使って水でよく洗い流してください。

● 吸引した場合

新鮮な空気があるところへ移動し、大量の水でうがいをしてください。せきなどの症状があるときは、医師の診察を受けてください。

● 飲み込んだ場合

口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。すみやかに医師の診察を受けてください。

● 目に入った場合

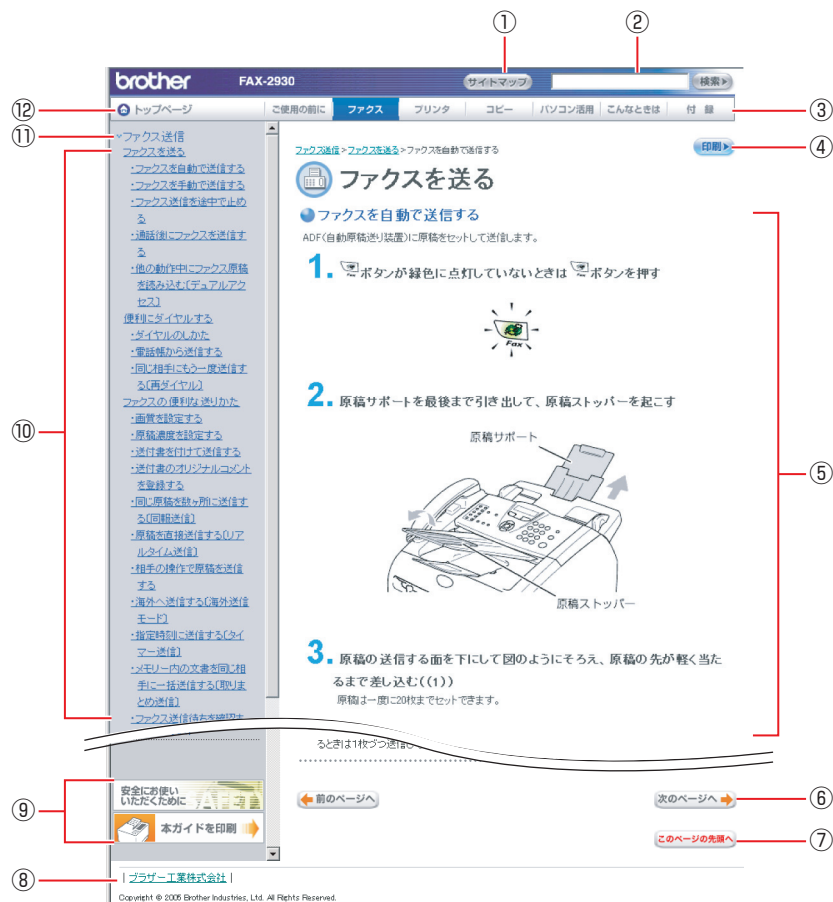
直ちに流水でよく洗ってください。刺激や痛みが残るようであれば、医師の診察を受けてください。

ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

付属のCD-ROMにはユーザーズガイド（HTML版）が収録されており、プリンタなどパソコンと接続して使う機能についても記載しています。以下ではユーザーズガイド（HTML版）の画面と操作を説明しています。この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。



①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	本ガイドの全体構成図を表示します。
③	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。 「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。 「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。 「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。 「本ガイドを印刷するには」：本ガイドを印刷する場合の説明をしています。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次です。
⑥	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①	本ガイドの全体構成図を表示します。
②	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
③	各機能のページ（章）に移動します。
④	現在のページを印刷します。
⑤	操作内容が表示します。
⑥	次のページに移動します。
⑦	現在のページの最上部に移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑨	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：HTMLマニュアルを印刷するときの説明をしています。
⑩	中見出し・小見出しです。
⑪	大見出しです。
⑫	トップページに移動します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	参照先を記載しています。（XXX はページ）
	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はページ）
	ユーザーズガイド（HTML 版）を参照しています。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を示します。

大見出しです。

ドラムユニットの交換

中見出しです。

液晶ディスプレイに「ドラム コカン ジキズ」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。特に **⚠** マークがあるものは、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

- ドラムユニットは本機に取り付ける直前に開封してください。
- ドラムユニットは、印刷品質を保证するように特別に調整されたプラザー純正品（商品名：DR-20J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本機の保証が無効になります。
- 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- ドラムユニットにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- ドラムユニットを交換した後は、本機をきれいに清掃してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

補足

- 液晶ディスプレイに「ドラム コカン ジキズ」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換されることをお勧めします。
- 「ドラム コカン ジキズ」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- ドラムユニットを交換するタイミングは、本機も検知されることをお勧めします。 **P.139** 参照してください。

参照先を記載しています。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

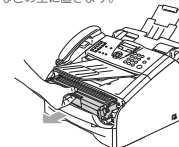
ドラムユニット交換のしかた

1 フロントカバーを開く



2 ドラムユニットを本機から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



3 ドラムユニットの青いロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す



○ 次ページへ続く

139

次ページに続いていることを示します。

ページで番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

1章

ご使用の前に

かならずお読みください

各部の名称とはたらき	28
操作パネルの名称とはたらき	28
各部の名称	30
液晶ディスプレイの特徴	31
液晶ディスプレイについて	31
ファクスモードの標準画面	31
コピーモードの標準画面	31
案内メッセージ（エラーメッセージ例）	31
液晶ディスプレイの表示言語を設定する 〔英語・日本語〕	31
機能設定する	32
ナビゲーションキーを使った基本操作	32
ダイヤルボタンを使った基本操作	32
記録紙について	33
推奨紙	33
セットできる記録紙の種類	33
セットできる記録紙サイズと枚数	34
記録紙の印刷可能範囲について	34
記録紙トレイに記録紙をセットする	36
手差しスロットから印刷する	37
原稿について	38
原稿サイズ	38
原稿の読み取り範囲	38
モードについて	40
モードタイマーを設定する	40
回線種別を設定する	41
自動で回線種別を設定する	41
手動で回線種別を設定する	42
利用中の電話回線の種別を調べる	42
ご使用前の設定をする	43
日付・時刻を合わせる〔時計セット〕	43
名前とファクス番号を登録する 〔発信元登録〕	44
発信元登録を消去する	44
受信モードについて	45
受信モードの種類	45
お使いの電話機を本製品と接続しない場合	45
お使いの電話機を本製品と接続する場合	46
受信モードを選ぶ	49
受信モードを設定する	49
呼出回数を設定する	50
再呼出回数を設定する	50
本製品の接続イメージ	51
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）	51
公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）	51
ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）	52
ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）	52
ADSL環境に接続する場合	53
ひかり電話に接続する場合	54
デジタルテレビを接続する場合	54
構内交換機（PBX）、ホームテレホン、 ビジネスホンを接続する場合	55
内線電話として接続する場合	55

必要に応じて設定してください

基本設定を変更する	56
記録紙のタイプを選ぶ	56
記録紙のサイズを選ぶ	56
着信音量を設定する	57
ボタン確認音量を設定する 〔ボタン確認音量&ブザー音量〕	57
スピーカー音量を設定する	58
受話音量を設定する	58
トナーを節約する〔トナーセツヤクモード〕	59
スリープモードに入る時間を設定する 〔スリープモード〕	59
液晶ディスプレイのコントラストを調整する	60
セキュリティ機能の設定について	61
操作ロックとは	61
設定ロックのしかた	62
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	64
ナンバー・ディスプレイサービスとは	64
特別設定について	66
特別回線対応を設定する	66
ダイヤルトーン検出の設定をする	66
安心通信モードを設定する	67

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

コピー機能ボタン

●オプションボタン

コピーの設定を一時的に変更するときに押します。

P.120

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの11～20を登録またはダイヤルするとき、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。**P.72**

ファクス機能ボタン

●再ダイヤル/ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。

P.74

ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

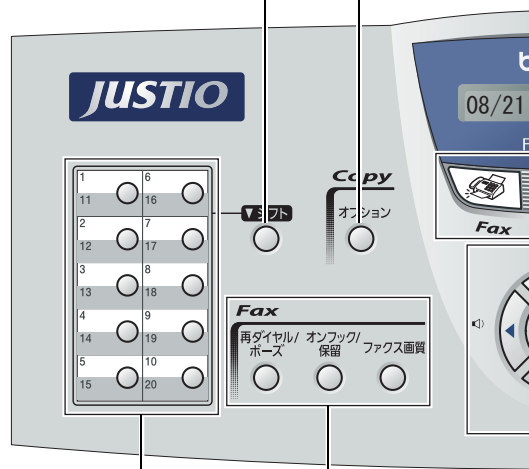
●オンフック/保留ボタン

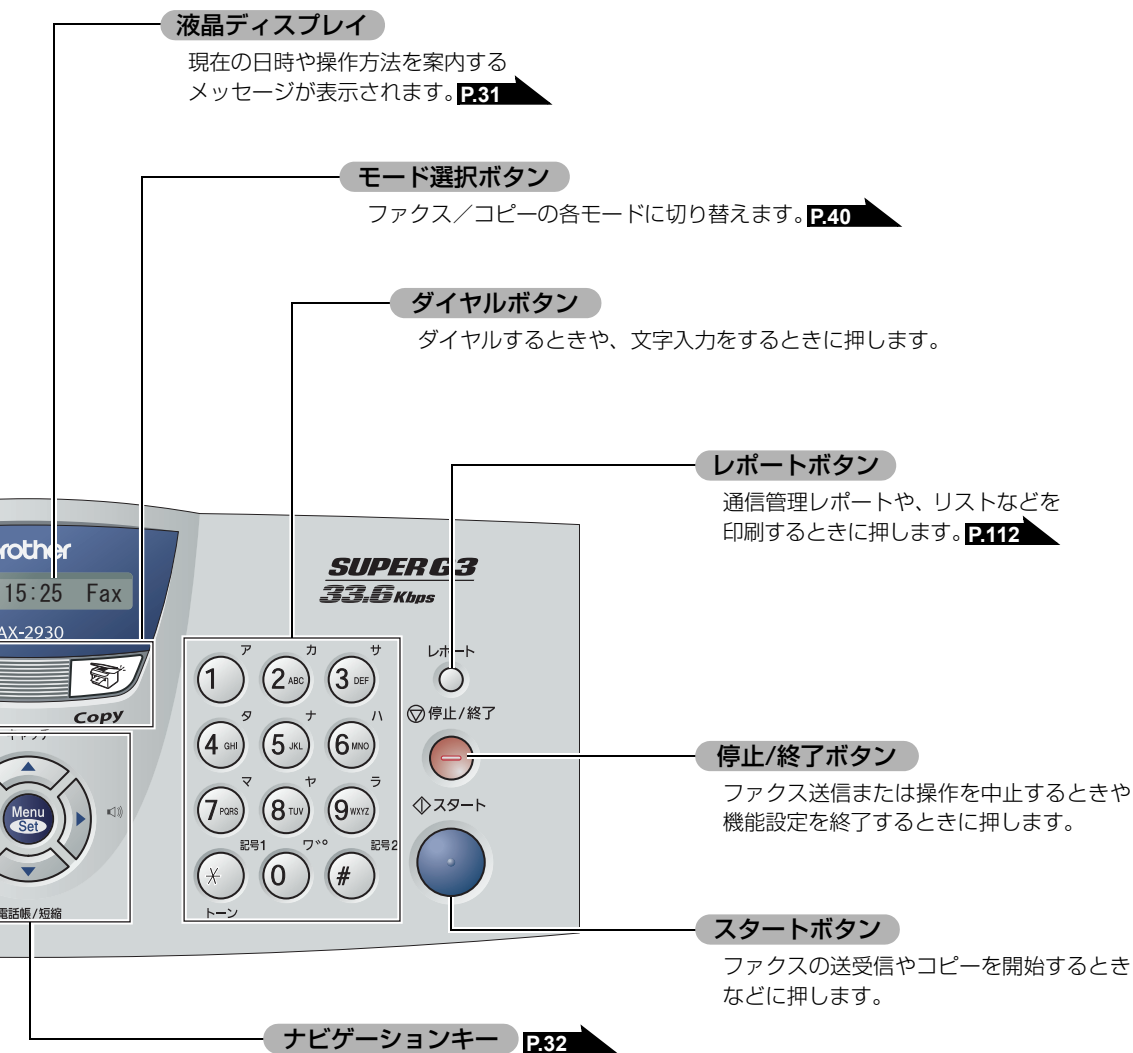
ファクスを手動送信するときに押します。**P.71**

通話中に押すと、通話を保留にして相手にメロディが流れます。

●ファクス画質ボタン

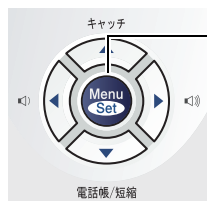
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。**P.76**





キャッチ

キャッチホンを使うときに押します。



機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときには押します。

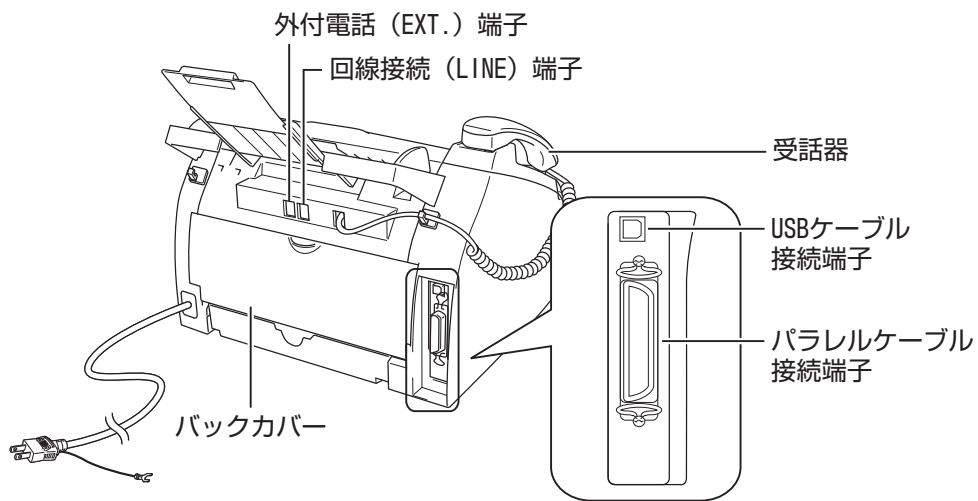
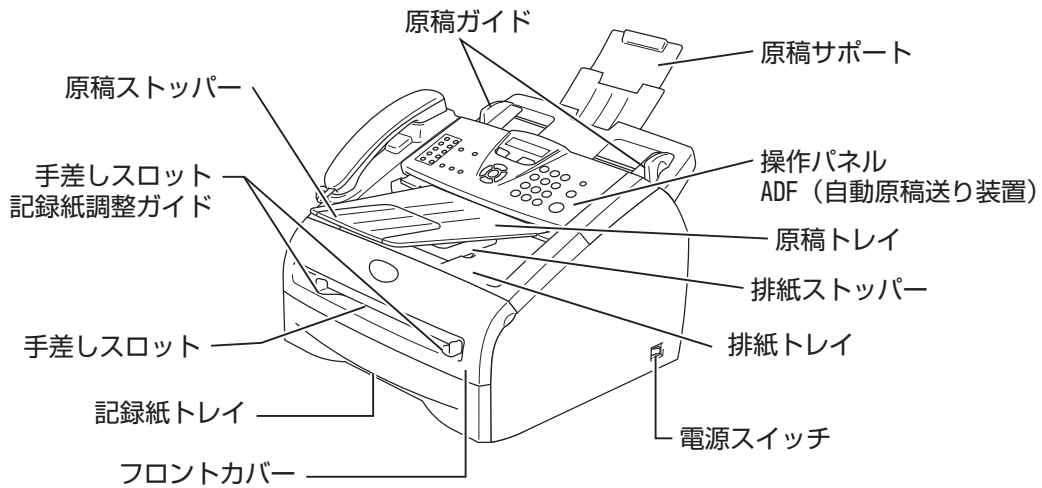
- 前のレベルメニューに移動します。
- 音量を小さくします。

- 次のレベルメニューに移動します。
- 音量を大きくします。

電話帳/短縮

電話帳から検索するときには押します。**P.73**

各部の名称



《かならずお読みください》

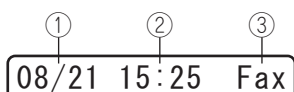
液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本製品は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。

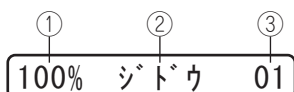


ファクスモードの標準画面



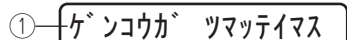
- ①：月/日が表示されます。
- ②：現在の時刻が表示されます。
- ③：設定したファクスの受信モードが表示されます。

コピーモードの標準画面



- ①：拡大率が表示されます。
- ②：コピー画質が表示されます。
- ③：コピー枚数が表示されます。

案内メッセージ(エラーメッセージ例)



- ①：エラー内容などが表示されます。
エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する 〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

- 1 を押す

0. ヒョウジ ゲンゴ

- 2 で言語を選択する

コトバ : ニホンゴ

- 3 を押す

ウケツケマシタ

- 4 を押す

● (補足)

- お買い上げ時は「ニホンゴ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

This setting allows you to change LCD language to English.

- 1 Press
- 2 Press to select "English".
- 3 Press .
- 4 Press to exit.

- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「English」フォルダ内の「README」を参照してください。

For the method of installing the English OS driver, see "README" in "English" folder stored on the attached CD-ROM.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。
ナビゲーションキーを使用することによって、設定したい項目を選択しながら設定することもできます。



ナビゲーションキー	キーの役割
	- メインメニューを表示する場合 - 次のメニューレベルに移る場合 - 選択項目を確定（決定）する場合 - 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ウケツクマシタ」と表示されます。
	メニュー内の項目を表示する場合
	- 前のメニューレベルに戻る場合 - 音量を小さくする場合
	- 次のメニューレベルに進む場合 - 音量を大きくする場合
停止 / 終了ボタン	キーの役割
	操作を中止するときや、設定を終了する場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本製品に対する各種の設定ができます。

補足

設定を途中で終了するときは、を押してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類	記録紙名
普通紙	（株）リコーマイペーパー A4T目
再生紙	富士ゼロックス（株）オフィスサプライ グリーン100
OHPフィルム	住友3M CG3300
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ	手差しスロット
普通紙 (75g/m ² ～105g/m ²)	○	○
厚紙 (105g/m ² ～161g/m ²)	×	○
薄紙 (60g/m ² ～75g/m ²)	○	○
再生紙	○	○
OHPフィルム	○（10枚）	○
ラベル紙	×	○
封筒	×	○

補足

- 宛名ラベル、OHPフィルムなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 本製品は再生紙を使用できます。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜き取ってください。
- はがきは印刷すると大きく反ってしまう（カール）ため、ご使用できません。

セットできる記録紙サイズと枚数

下記の記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

	記録紙トレイ	手差しスロット
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS）、A5※、A6	幅69.9～215.9mm× 長さ116～406.4mm
枚数	250枚（80g/m ² ）	1枚

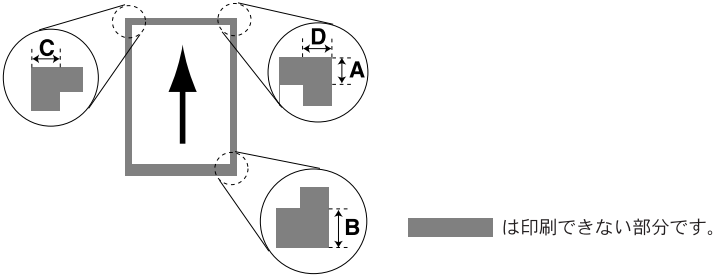
※A5横は手差しスロットをご使用ください。**P.37** を参照してください。

補足

特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



(単位：mm)

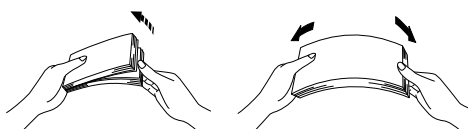
サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	3.0	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

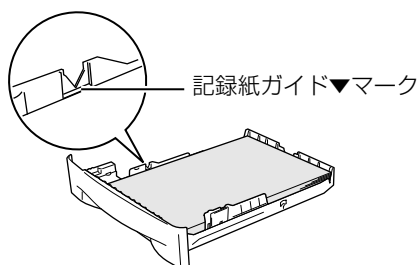
印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

注意

- 一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンタで印刷した記録紙は、絶対に使用しないでください。
- インクジェット紙は絶対に使用しないでください。
- 一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。
- ビニールコーティングされた記録紙は絶対に使用しないでください。
- 極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。
- ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。



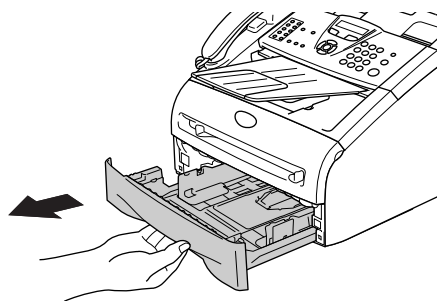
- 記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。



- 排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙(80g/m²紙)の場合、約100枚です。

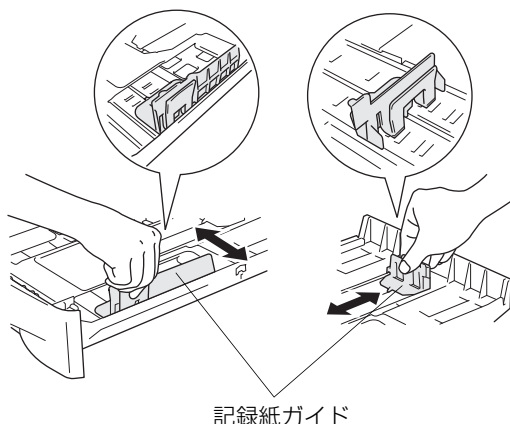
記録紙トレイに記録紙をセットする

1 記録紙トレイを完全に引き出す

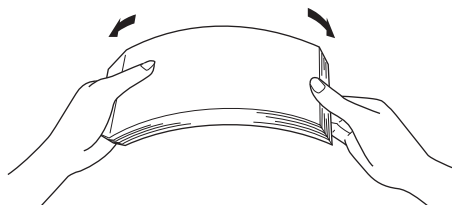


2 記録紙ガイドをつまみながらスライドする

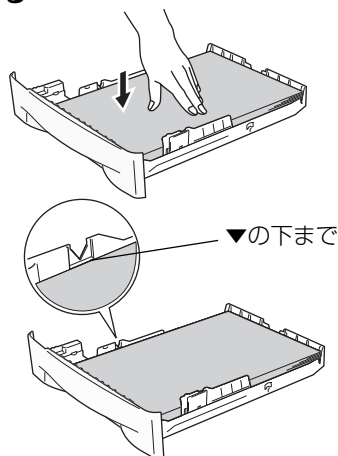
ご使用になる記録紙のサイズに合わせます。



3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる



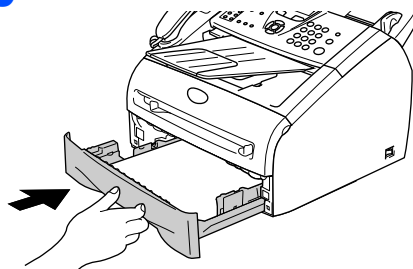
注意

記録紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙詰まりや給紙ミスの原因になります。

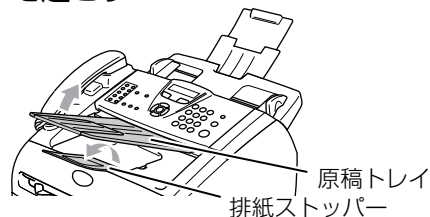
補足

- A4(80g/㎡の普通紙)で約250枚までセットできます。
- 記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻す



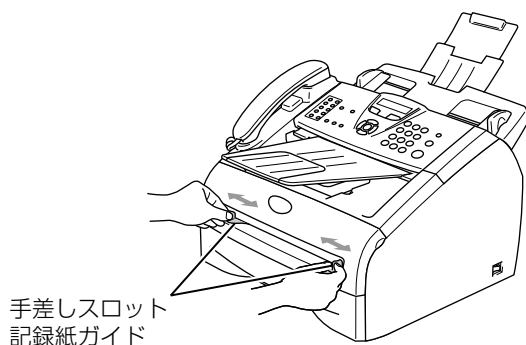
6 原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起こす



手差しスロットから印刷する

ラベル紙や厚紙などは手差しスロットから印刷します。

1 手差しスロット記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる



2 記録紙を両手で持って手差しスロットに差し込む

用紙の先端をつきあたるまで入れ、用紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態待ちます。自動的に紙が引き込まれたら、記録紙から手を離します。



補足

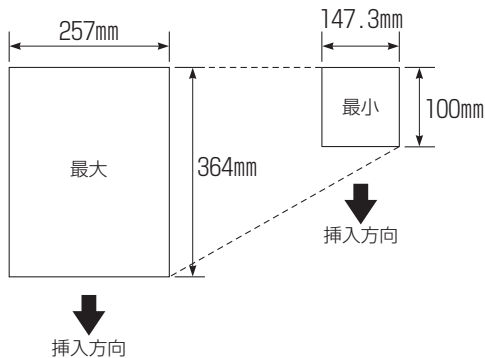
- 印刷する面を上向きにしてセットしてください。
- 手差しスロットに差し込むときは、記録紙をゆっくりと差し込んでください。
- 記録紙は、まっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと紙づまりを起こしたり、斜めに印刷される恐れがあります。
- 記録紙は1枚ずつ差し込んでください。

《かならずお読みください》

原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機などでセットできる原稿サイズにコピーしてからセットしてください。

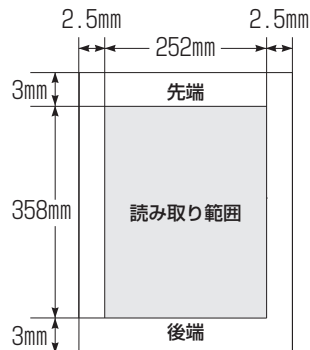


坪量 : 64g/m² ~ 90g/m²

原稿の読み取り範囲

B4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

〈ファクス・コピー〉



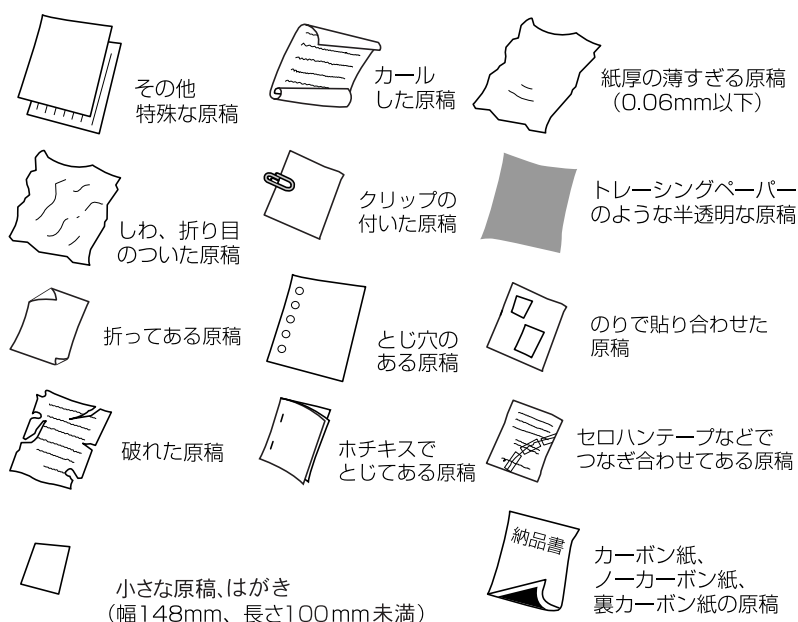
補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。**P.34**を参照してください。

注意

ファクスについて

- 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- インクやのりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 送信するときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、複写機でコピーしてから送信してください。キャリアシートを使って原稿をセットすることもできますが、1枚ずつ送信してください。



コピーについて

- 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。
 - ・ 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
 - ・ 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
 - ・ 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - ・ 未使用の郵便切手や官製はがき
 - ・ 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
 - ・ 著作権のある物
 - ・ 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
 - ・ その他の注意を要する物
 - ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
 - ・ 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

《かならずお読みください》

モードについて

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピーの各モードを選択することができます。



現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1



1. モード タイマー

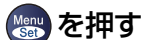
2



「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 フン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

モード : 30 ビョウ

3



ウケツケマシタ

4



お買い上げ時、モードタイマーは「30 ビョウ」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

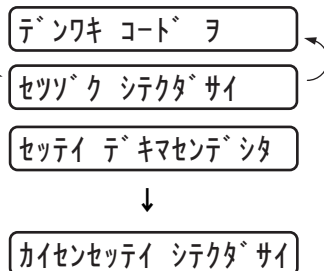
電話機コードと電源コードを接続すると、本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

プッシュ カイセン デス : プッシュ回線に設定されたとき

ダイヤル 20PPS デス : ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別は「プッシュ回線」に設定されます。
- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については **P.42** を参照してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。



手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越などで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 を押す

4. カイセンシュベツ セッテイ

2 で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- ・プッシュ回線するとき : プッシュ カイセン
- ・ダイヤル回線10PPSするとき : ダイヤル 10PPS
- ・ダイヤル回線20PPSするとき : ダイヤル 20PPS
- ・自動設定を行うとき : ジドウ セッテイ

カイセン: フッシュ カイセン

3 を押す

ウケツケマシタ

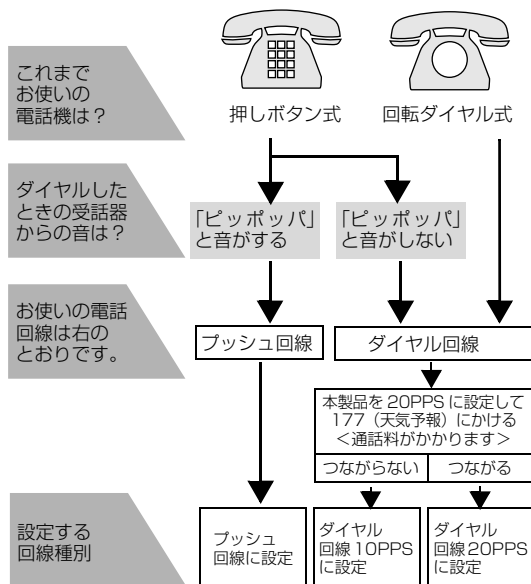
4 を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「プッシュ カイセン」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
本製品の回線種別設定は、NTTと契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録があれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1    を押す

2. トケイ セット

2 年号(西暦の下2桁)を入力して  を押す

例: 2008年の場合は「08」

ネ: 2008

3 月を2桁で入力して  を押す

例: 8月の場合は「08」

ツキ: 08

4 日付を2桁で入力して  を押す

例: 21日の場合は「21」

ヒツ: 21

5 時刻を入力する

例: 午後3時25分の場合は「1525」

ジ ャク: 15:25

6  を押す

ウケツケマシタ

7  を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

08/21 15:25 Fax

- 間違って入力した場合は、 を押し、再度初めから入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 4日間以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する 〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 を押す

3. ハッシンモト トウロク

2 ファクス番号を入力して を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

ファクス: 03XXXXXXXXX

3 電話番号を入力して を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

デ ンワ: 03XXXXXXXXX

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

ナ マエ: スゞ キ ケイコ

5 を押す

ウケツケマシタ

6 を押す

停止/終了

補足

- ファクス番号、電話番号には数字しか入力できません。
- 入力を間違えたときは、 を使って修正する文字に

停止/終了

カーソルを移動し、 を押して削除後、正しい文

字を入力し直します。

途中の文字を間違えたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。

停止/終了

-  を押すと、カーソル位置の文字から最後の文字まで削除します。

- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については **P.78** を参照してください。

発信元登録を消去する

1 を押す

3. ハッシンモト トウロク

2 で「ヘンコウ」を選択する

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

3 を押して、登録されている文字をすべて消去する

ファクス:

4 を押す

ウケツケマシタ

5 を押す

停止/終了

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

本製品の受信モードには以下の種類があります。

■お使いの電話機を本製品と接続しない場合

- ・ファクス専用モード
- ・自動切替モード

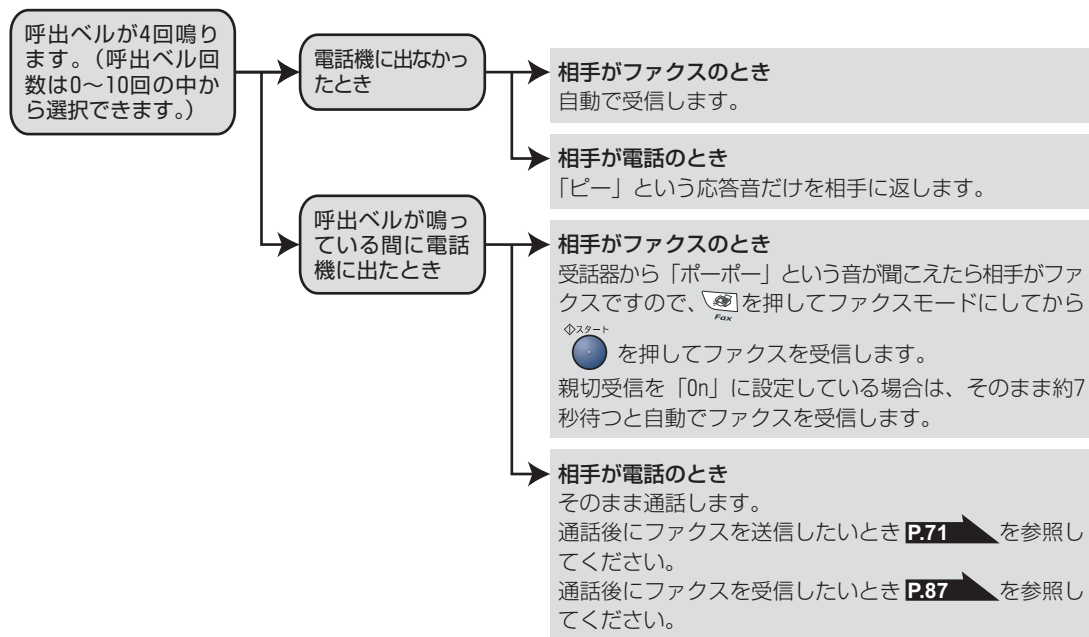
■お使いの電話機を本製品と接続する場合

- ・自動切替モード
- ・外付留守電モード
- ・電話モード

お使いの電話機を本製品と接続しない場合

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するときを設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



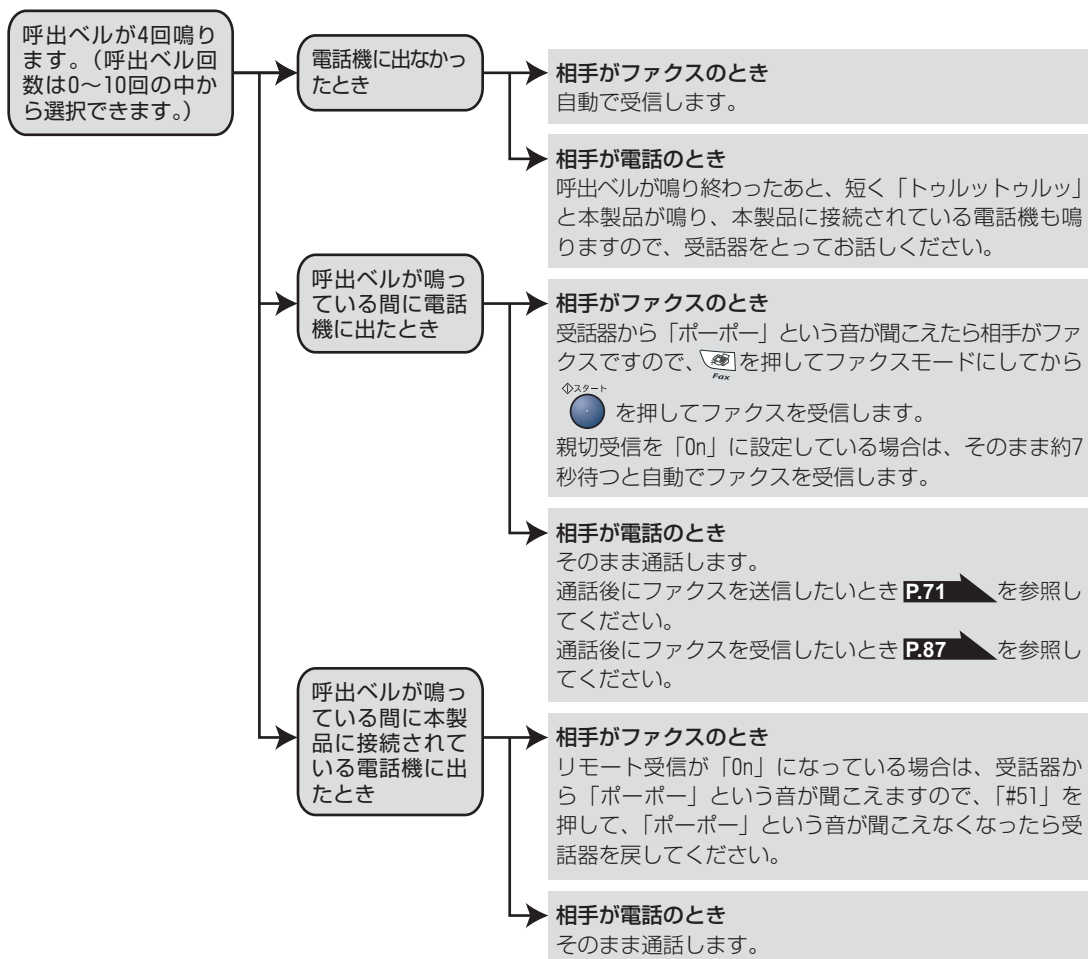
補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて ◇スタート を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 呼出回数は、0~10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数設定のしかたは **P.50** を参照してください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して ◇スタート を押してください。

お使いの電話機を本製品と接続する場合

自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。

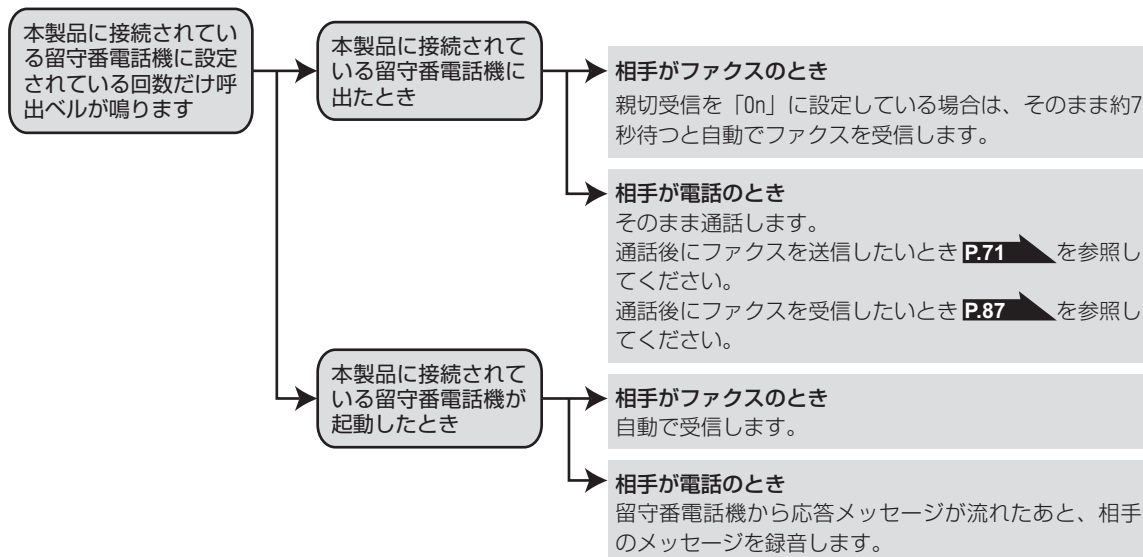


補足

- 呼出回数の設定のしかたは **P.50** を参照してください。
- 自動切替モードでは、本製品が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して を押してください。
- 呼出回数を7回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

■ 本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

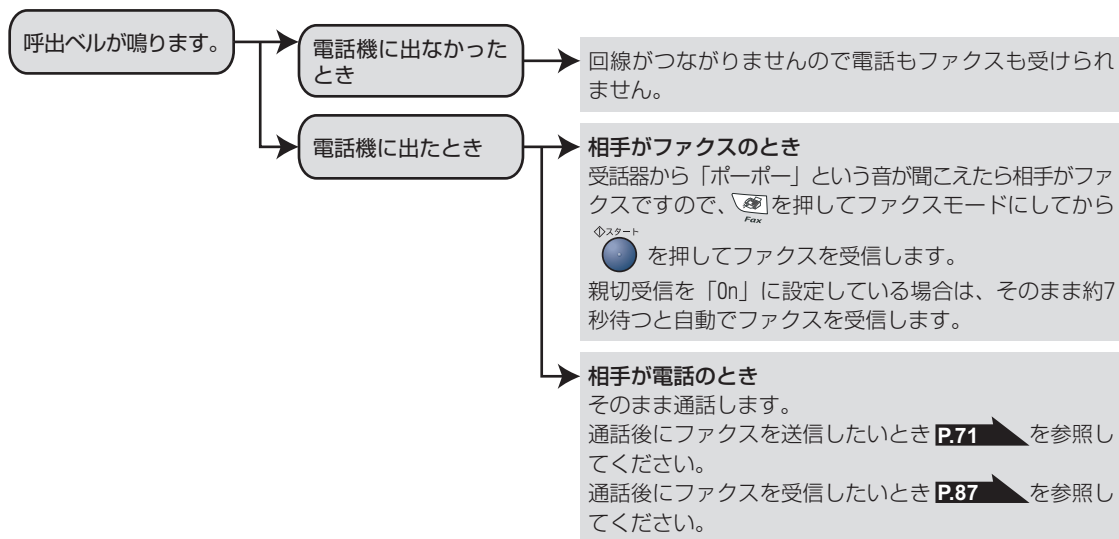
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。
- リモート受信が「0n」になっている場合は、本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。

電話モード

電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

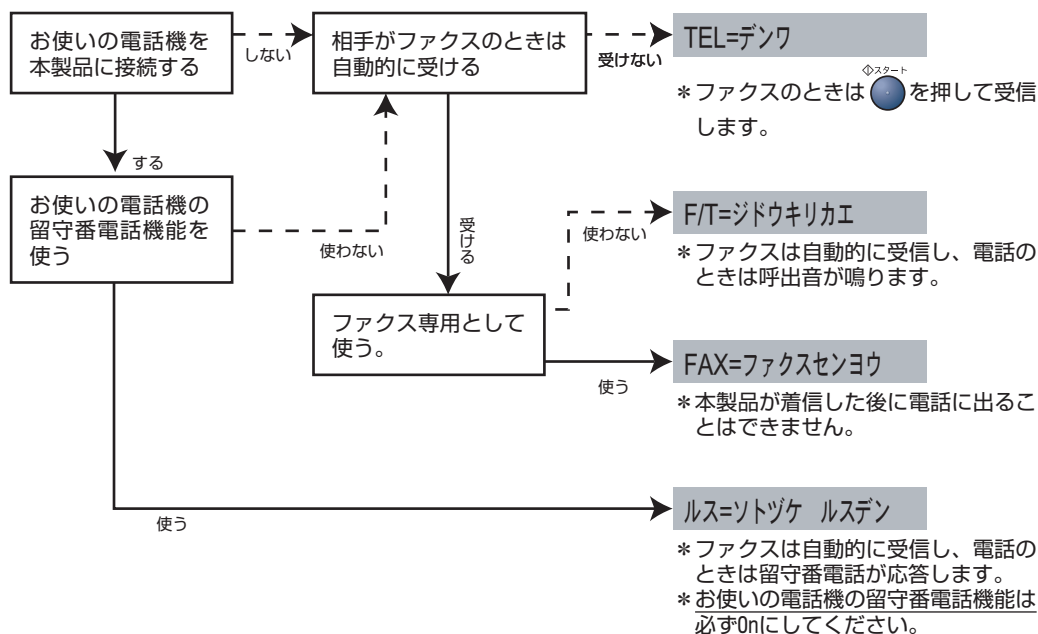
- リモート受信が「On」になっている場合は、本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いてスタートを押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認してスタートを押してください。

キャッチホン契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選択します。



受信モードを設定する

1. **Menu** **0** **1** を押す
1. ジュシシ モード
2. **でモードを選択する**
「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソツツケ ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。
FAX=ファクスセンヨウ
3. **Menu** を押す
ウケツケマシタ
4. **停止/終了** を押す

補足

- お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。
- 「ルス=ソツツケ ルスデン」モードを設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1     を押す

1. ヨビダシ カイスウ

2  で呼出回数を選択する
0～10回から選択します。

カイスウ: 04

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本製品に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには **P.57** を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルトゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1     を押す

2. サイ ヨビダシ カイスウ

2  で再呼出回数を選択する
「08」「15」「20」の中から選択します。

カイスウ: 08

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本製品は、設定した回数だけ呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

《かならずお読みください》

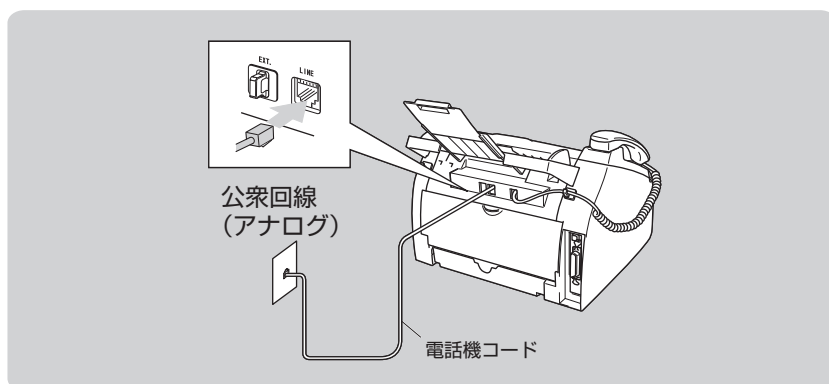
本製品の接続イメージ

本製品ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

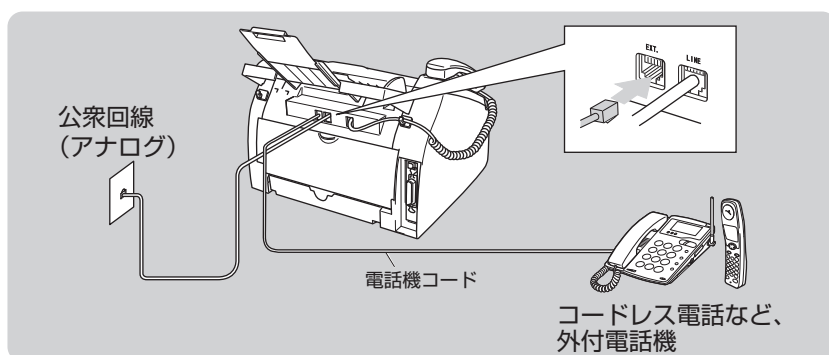
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

受信モードをファクス専用に設定します。



公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）

本製品に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

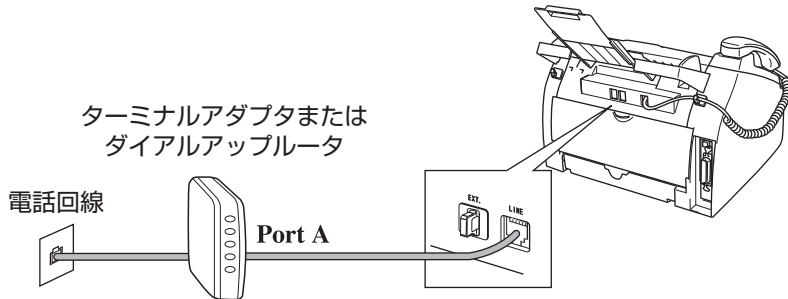


補足

- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品または本製品に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りのNTT窓口（116番）にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本製品に接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ソツク デンワ ユウセン」に設定してください。**P.64** を参照してください。
- 外付電話端子（EXT.）に接続できる端末（電話機など）台数は1台です。

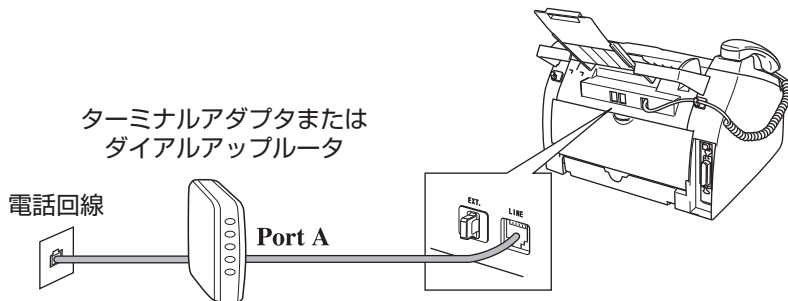
ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

電話とファクスの同時使用はできません。



ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

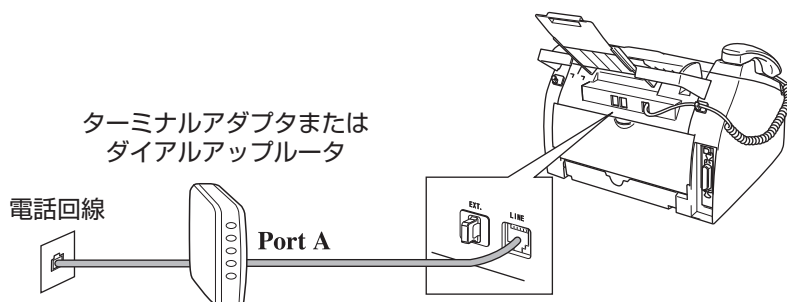


補足

- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
 - 電話番号が1つの場合、ターミナルアダプタの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本製品を接続した場合、Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
 - 電話番号が2つの場合（ダイヤルインサービスまたはi・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
 - 本製品の回線種別は「プッシュ カイセン」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「プッシュ カイセン」になっています。電話回線の設定の詳細については **P.41** を参照してください。
- ターミナルアダプタ側は本製品を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本製品が使えないときは、ターミナルアダプタの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合は **P.66** を参照してください。

ADSL環境に接続する場合

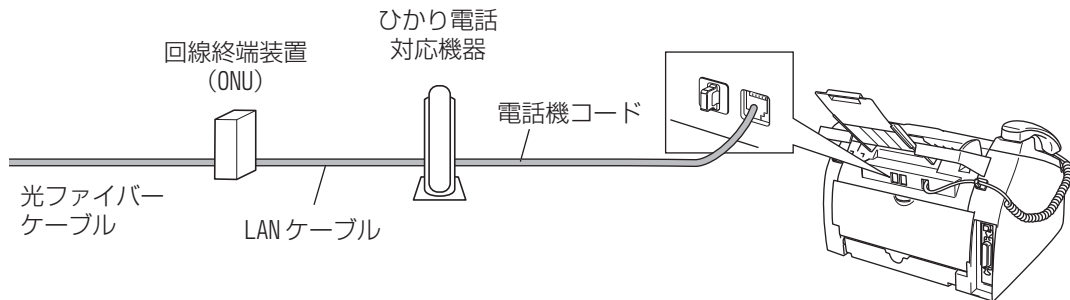
受信モードを自動切替えに設定します。



補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。**P.21**を参照してください。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
IP網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。**P.66**を参照してください。

ひかり電話に接続する場合



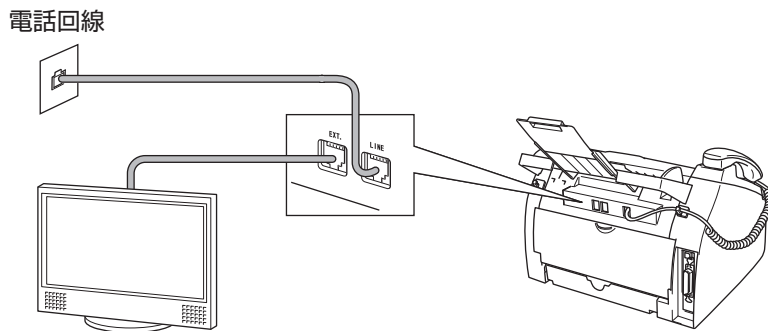
補足

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置 (CTU)、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

※NTT以外の電話会社をご利用の場合は、同様のサービスでも名称が異なることがあります。

デジタルテレビを接続する場合

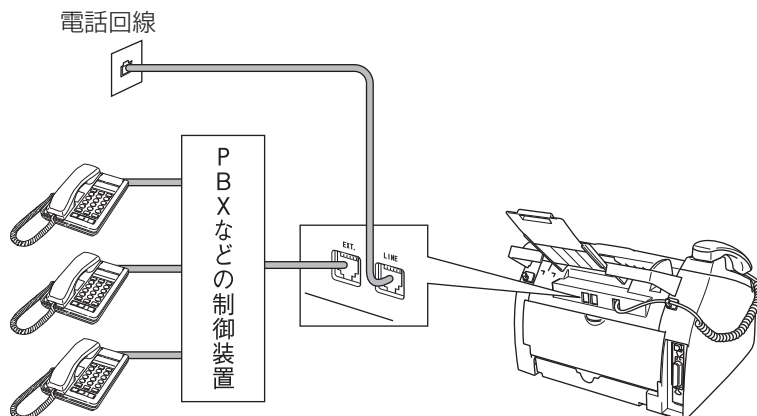
受信モードを自動切換えに設定します。デジタルテレビは、本製品の外付電話端子 (EXT.) に接続します。



構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。

受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。

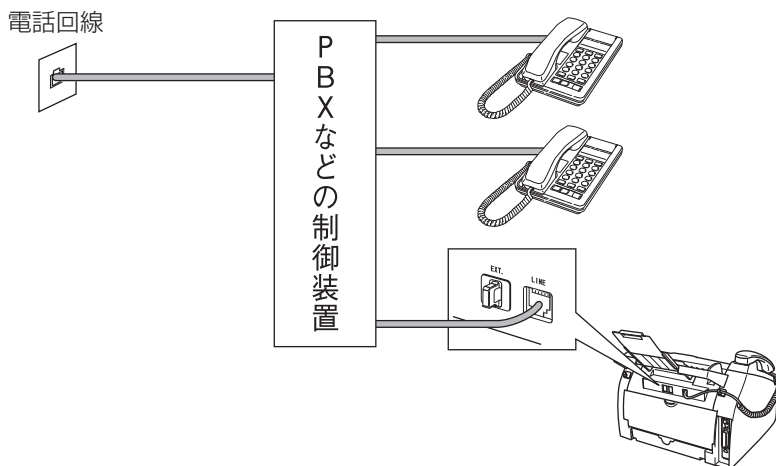


補足

- ビジネスホンとは
電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
電話回線1～2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本製品を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本製品の特別回線の設定を「PBX」にしてください。**P.66**を参照してください。



《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1    を押す

2. キロクシ タイプ

2  で記録紙のタイプを選択する
「フツウシ」「フツウシ(アツク)」 「アツガミ」
「チョウアツガミ」「OHPフィルム」「サイセイシ」の中から選択します。

キロクシ: フツウシ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時、記録紙のタイプは「フツウシ」に設定されています。

記録紙のサイズを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1    を押す

3. キロクシ サイズ

2  で記録紙のサイズを選択する
「A4」「B5」「A5」「A6」「USレター」の中から選択します。

サイズ: A4

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時、記録紙のサイズは「A4」に設定されています。
- 記録紙を「A4」や「USレター」以外のサイズに設定しているときにファクス受信した場合は、液晶ディスプレイに「キロクシサイズ マチガイ」のエラーメッセージが表示されて印刷することができません。記録紙トレイにA4サイズの記録紙を入れて、記録紙サイズの設定を「A4」にしてください。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1     を押す

1. チャクシン オンリョウ

2  で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:チュウ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時、ベルの音量は「チュウ」に設定されています。
-  ボタンが緑色に点灯しているときは着信音量を  で調整できます。

ボタン確認音量を設定する 〔ボタン確認音量&ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1     を押す

2. ホタンカクニン オンリョウ

2  で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:チュウ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時、ボタン確認音量は「チュウ」に設定されています。
- 「Off」(ボタン確認音なし)を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1     を押す

3. スピーカー オンリョウ

2  で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ：チュウ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時、スピーカー音量は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、 を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに  を押して調節することもできます。

受話音量を設定する

相手の声の大きさを調節します。

1     を押す

4. シュウ オンリョウ

2  で音量を選択する

「ショウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ：ショウ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 受話器で相手と通話中に  を押して調節することもできます。

トナーを節約する〔トナーセツヤクモード〕

トナーを節約したいときは、「トナー セツヤク モード」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1     を押す

1. トナー セツヤク モード

2  で「On」を選択する

トナー セツヤク: On

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1     を押す

2. スリープ モード

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

00~99分まで分単位で設定します。

スリープ カイシ: 05フン

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約10秒~20秒時間がかかります。
- お買い上げ時は「05フン」に設定されています。
- 手順2で  と  を同時に押すと「On」「Off」が選択できるようになります。「Off」を選択すると、スリープモードにはなりません。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見にくいときは、コントラストを調整します。

1    を押す

6. ガ メンノ コントラスト

2  でコントラストを選択する
「ウスク」「コク」の中から選択します。

コントラスト: コク

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は「コク」に設定されています。

《必要に応じて設定してください》

セキュリティ機能の設定について

パスワードを登録して印刷／ファクス送信／コピー操作を制限したり、設定のロックをすることができます。

操作ロックとは

パスワードによりセキュリティ操作ロックを ON に設定すると、印刷／ファクス送信／コピー操作がロックされます。

- ・ファクス受信 → 送られてきたファクスをメモリーに蓄積し、印刷はしません。
- ・プリンター → 出力内容をメモリーに蓄積し、印刷はしません。

印刷／ファクス送信／コピーする場合は、セキュリティ操作ロックを OFF に設定してください。

パスワードを登録する

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1     を押す

1. セキュリティソサロック

2 4桁のパスワードを入力して  を押す

3 パスワードを再度入力する

4  を押す

ウケツケマシタ

5  を押す

パスワードを変更する

1     を押す

1. セキュリティソサロック

2  を押して「パスワード セッテイ」を選択して  を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力して  を押す

4 4桁の変更したい新しいパスワードを入力して  を押す

5 新しいパスワードを再度入力する

6  を押す

ウケツケマシタ

7  を押す

操作ロックをOnにする

- 1  ^ア1 ^マ7 ^カ1 を押す
1. セキュリティソウサロック
- 2  を押して「セキュリティ セッテイ」を選択して  を押す
- 3 登録した4桁のパスワードを入力する
- 4  を押す
ウケツケマシタ

操作ロックをOffにする

- 1  を押す
1. セキュリティソウサロック
 - 2 登録した4桁のパスワードを入力して  を押す
 - 3 もう一度  を押す
- 補足
- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードガ チガイマス」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
 - 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

設定ロックのしかた

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- ・ 日付／時刻
- ・ 発信元登録
- ・ 電話帳設定（ワンタッチ・短縮・グループダイヤル）
- ・ モードタイマー
- ・ 記録紙タイプ
- ・ 記録紙サイズ
- ・ 音量（着信・ボタン確認・スピーカー・受話）
- ・ 省エネモード（トナー節約・スリープモード）
- ・ 液晶ディスプレイのコントラスト
- ・ セキュリティ（操作ロック・設定ロック）

パスワードを登録する

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

- 1  ^ア1 ^マ7 ^カ2 を押す
2. セキュリティセッテイロック
 - 2 4桁のパスワードを入力して  を押す
 - 3 パスワードを再度入力する
 - 4  を押す
ウケツケマシタ
- 停止/終了
- 5  を押す

パスワードを変更する

- 1     を押す
2. セキュリティセッテイロック
- 2  を押して「パスワード セッテイ」を選択して  を押す
- 3 登録した4桁のパスワードを入力して  を押す
- 4 4桁の変更したい新しいパスワードを入力して  を押す
- 5 新しいパスワードを再度入力する
- 6  を押す
ウケツケマシタ
- 7  を押す

設定ロックをOnにする

- 1     を押す
2. セキュリティセッテイロック
- 2  を押して「On」を選択して  を押す
- 3 登録した4桁のパスワードを入力する
- 4  を押す
ウケツケマシタ
- 5  を押す

設定ロックをOffにする

- 1     を押す
2. セキュリティセッテイロック
- 2 登録した4桁のパスワードを入力して  を押す
- 3 もう一度  を押す
- 4  を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードガ チガイマス」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、電話会社（NTT）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
操作方法については **P.100** を参照してください。

補足

- 本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。**P.21** を参照してください。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

- 1    を押す
7. ナンバー・ディスプレイ

- 2  で電話番号の表示方法を選択する
「On」「Off」「ソツケデンワ ユウセン」の中から選択します。
 - 「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
 - 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
 - 「ソツケデンワ ユウセン」を選択した場合、本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

On

- 3  を押す

ウケツケマシタ

- 4  を押す

注意

「ソツケデンワ ユウセン」で使用する場合に本製品を「自動切替モード」に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- お買い上げ時は、「Off」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「On」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。
- 着信履歴リストを表示したり着信履歴リストを印刷するには、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にする必要があります。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ソツケデンワ ユウセン」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にしてください。
- 「ソツケデンワ ユウセン」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1    を押す

6. トクベツカイセン タイオウ

2  で回線を選択する

「イッパン」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

カイセン: イッパ^ン

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

 停止/終了

補足

- お買い上げ時は、「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「ケンチスル」に設定してください。

注意

本製品をPBXやIP電話アダプタに接続している環境で「ケンチスル」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「ケンチシナイ」のままお使いください。

1    を押す

5. ダイヤルトーン セッテイ

2  で設定を選択する

「ケンチスル」「ケンチシナイ」の中から選択します。

3  を押す

4  を押す

 停止/終了

補足

お買い上げ時は「ケンチシナイ」に設定されています。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「コウソク」→「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送受信時間は遅くなりますが、「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。

1 を押す

0. アンシン ツウシン モード

2 で回線を選択する

「コウソク」「ヒョウジュン」「アンシン」の中から選択します。

ツウシン: コウソク

3 を押す

ウケツケマシタ

4 を押す

補足

- お買い上げ時は、「コウソク」に設定されています。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」(ゼロを4つ) 付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご契約になっている会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
 - ・ 通信回線の品質
 - ・ 信号レベル
 - ・ 通信相手機の影響
 - ・ 屋内線の配線や接続している機器の影響

本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

2章

ファクス

ファクス送信

ファクスを送る	70
ファクスを自動で送信する	70
ファクスを手動で送信する	71
ファクス送信を途中で止める	71
通話後にファクスを送信する	71
他の動作中にファクス原稿を読み込む 〔デュアルアクセス〕	71
便利にダイヤルする	72
ダイヤルのしかた	72
電話帳から送信する	73
同じ相手にもう一度送信する 〔再ダイヤル〕	74
ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）の 設定について	75
直接入力を制限する	75
ワンタッチダイヤルを制限する	75
短縮ダイヤルを制限する	75
ファクスの便利な送りかた	76
画質を設定する	76
原稿濃度を設定する	77
送付書を付けて送信する	78
送付書のオリジナルコメントを登録する	79
同じ原稿を数ヶ所に送信する 〔同報送信〕	79
原稿を直接送信する 〔リアルタイム送信〕	80
相手の操作で原稿を送信する	81
海外へ送信する〔海外送信モード〕	83
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	84
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する 〔取りまとめ送信〕	84
ファクス送信待ちを確認または解除する	85

ファクス受信

ファクスを受信する	86
自動的に縮小して印刷する	86
印刷の濃さを設定する	86
メモリー代行受信について	87
手動でファクスを受信する	87
通話後にファクスを受信する	87
親切受信で受信する	88
本製品に接続されている電話機からファクスを 受信させる 〔リモート受信〕	89
リモート受信設定のしかた	89
本製品の操作で相手の原稿を受信する	90

《ファクス送信》

ファクスを送る

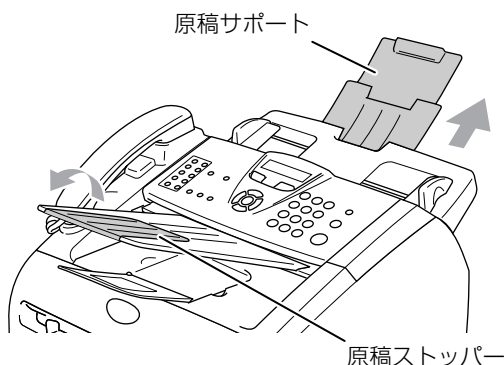
ファクスを自動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

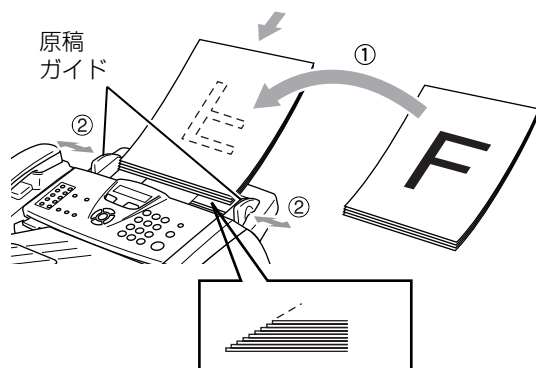


- 2 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿ストッパーを起こす



- 3 原稿の送信する面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む (①)

原稿は一度に20枚までセットできます。



- 4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる (②)

- 5 相手先のファクス番号を入力する

- 6  を押す

補足

- 送信を途中で止めたいときは  を押し、①を押してください。
- ダイヤルのしかたは **P.72** を参照してください。
- 「メモリーがいっぱい」と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力して消去してください。**P.106** を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- 自動送信の場合、 を押したあとに受話器を取ったり、オンフックボタンを押したりしないでください。

注意

原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは1枚ずつ送信してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、相手先の受信音を確認してから送信します。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す
- 2 ADF (自動原稿送り装置) 原稿をセットする
- 3 受話器を取るか  を押して、相手先のファクス番号を入力する
- 4 相手先の受信音 (ピー) を確認して  を押す
ファクスが送信されます。
- 5 受話器を戻す

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
-  を押してダイヤルしたあと、送信先の相手の声が聞こえたら受話器を取ってください。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

- 1  を押す

カイジョ 1. スル 2. シナイ
- 2  を押す

手動送信のとき

- 1  を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを送信します。

- 1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう
- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする
- 3  を押す
- 4 受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む 〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

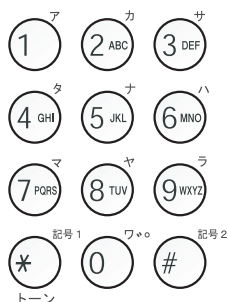
便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

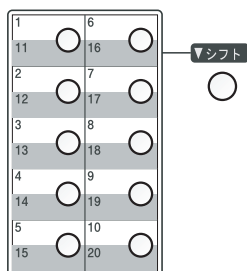


ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは20件登録できます。

11～20に登録されているファクス番号にダイヤル

するときは、**▼シフト**を押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは **P.94** を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

 を押し、 を押した後、登録されている短縮番号 (001～200) を押してダイヤルします。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは **P.96** を参照してください。

電話帳を使用する

 を押し、 を押すと五十音順に登録されている名前が表示されます。  で検索してダイヤルします。

補足

- グループダイヤルの登録のしかたは **P.98** を参照してください。
- 電話帳の作成のしかたは **P.94** を参照してください。

電話帳から送信する

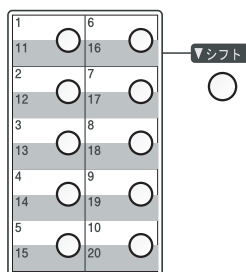
あらかじめ電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す



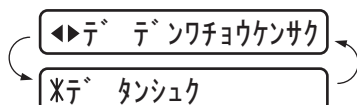
4 相手先の表示を確認して  を押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3  を押す



4  を押して相手先の登録されている短縮番号 (001~200) を押す

エキョウダイ

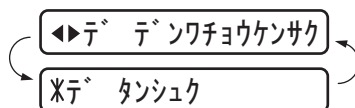
5 相手先の表示を確認して  を押す

電話帳を検索して送信する

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3  を押す



4 探したい名前の最初の1文字を入力する

5  で目的の名前を検索する

エキョウダイ

6 相手先の表示を確認して  を押す

補足

- 入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で最初の相手先名称が表示されます。

「工」から始まる名前が登録されていた場合

工イェウ ダイ 1 ▶

「工」から始まる名前が登録されていなかった場合

オXXX ▶

- 登録されている名前は  で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは **P.113** を参照してください。
- 文字入力のかたについては **P.160** を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては **P.94** **P.96** **P.98** を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する 〔再ダイヤル〕

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3  を押す
最後にかけた番号が表示されます。

4  を押す

補足

- 自動再ダイヤルについて
 - ・ 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは 5 分間隔で 3 回繰り返します。
 - ・ 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
 - ・ 自動再ダイヤルを 3 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ケッカ」の欄が「アウトナシ」または「ハナシチュウ」であることを確認し、再度送信してください。
 - ・ 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
 - ・ 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

《ファクス送信》

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）の設定について

誤って間違った相手に電話をかけたり、ファクスを送信したりしないように、ダイヤル発信を制限することができます。

「2ド ニュウリョク」に設定すると、電話またはファクス番号の再入力が必要られ、正しい番号を入力した場合にのみ、ダイヤリングが実行されます。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。

「オン」に設定すると、すべてのダイヤル発信ができなくなります。

「オフ」に設定すると、ダイヤル制限機能は動きません。

この機能は、直接入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルそれぞれで設定できます。

直接入力を制限する

1     を押す

1. チョクセツ ニュウリョク

2  で設定を選択する

「オフ」「2ド ニュウリョク」「オン」の中から選択します。

3  を押す

4  を押す

ワンタッチダイヤルを制限する

1     を押す

2. ワンタッチダイヤル

2  で設定を選択する

「オフ」「2ド ニュウリョク」「オン」の中から選択します。

3  を押す

4  を押す

短縮ダイヤルを制限する

1     を押す

3. タンシュクダイヤル

2  で設定を選択する

「オフ」「2ド ニュウリョク」「オン」の中から選択します。

3  を押す

4  を押す

注意

■ 外付電話使用時や  を押してからダイヤルする場合は、「2ド ニュウリョク」設定は無効です。

■  を押してダイヤルする操作は禁止できません。

■ 「オン」または「2ド ニュウリョク」に設定すると、同報送信や電話帳機能は使用できません。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3  を押す

4  で画質を選択して  を押す
「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力して  を押す

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3     を押す

2. ファクス ガシツ

4  で画質を選択する
「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

ガシツ：ヒョウジュン

5  を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セツテイ

1. スル 2. シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
 - ・ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
 - ・ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき
 - ・スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
 - ・シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ジドウ」に戻ります。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3     を押す

1. ゲンコウ ノウト

4  で原稿濃度を選択する
「ジドウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

ゲンコウ ノウト : ジドウ

5  を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セッテイ

1. スル 2. シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

● 原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- ・ジドウ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ・ウスク：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- ・コク：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3     を押す

7. ソウフショ

4  で送付書の設定を選択して  を押す

- 「コンカイノミ：On」「コンカイノミ：Off」「On」「Off」「プリント サンプル」の中から選択します。
- 「プリント サンプル」を選んだ場合： を押して  を押します。
- 「On」「コンカイノミ：On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「Off」「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

ソウフショ：On

5  でコメントを選択して  を押す

1. コメント ナシ

6 送信枚数を入力する

送信枚数は、「コンカイノミ：On」を選択した場合のみです。

マイスウ? :00

7  を押す

ウケツケマシタ

8 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セッテイ
1. スル 2. シナイ

9 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の4つの中から選んでください。
 - 「On」：毎回送付書をつける
 - 「Off」：毎回送付書をつけない
 - 「コンカイノミ：On」：今回のみ送付書をつける
 - 「コンカイノミ：Off」：今回のみ送付書をつけない
 - 「プリント サンプル」：プリントサンプルを出力する
- 手順5での送付書のコメントは下記の6種類の中から選べます。
 - 1. コメント ナシ
 - 2. オデンワ クダサイ
 - 3. シキユウ
 - 4. シンテン
 - 5. (オリジナル コメント)
 - 6. (オリジナル コメント)
 2種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは **P.79** を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数は送付書に印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「T0:」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。**P.94** を参照してください。

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。**P.44** を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

- 1     を押す
8. ソウフショ コメント
- 2  でコメントを登録する箇所を選び、 を押す
コメントは5か6に登録できます。
5.
- 3 コメントを入力して  を押す
ウケツケマシタ
- 4 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す
ホカノ セツテイ
1. スル 2. シナイ

補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては **P.160** を参照してください。

同じ原稿を数ヶ所に送信する 〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。最大270ヶ所まで指定できます。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す
- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする
- 3 相手先のファクス番号を入力して  を押す
このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。
・例：短縮ダイヤルから指定する(001番を指定するとき)
      を押します。
- 4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して  を押す
1件登録すごとに下の画面が表示されます。
ダイヤル シテクダサイ
スタートボタンヲ オス
- 5  を押す
すべての相手先を入力して  を押す
・原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
・同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには、を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は、  で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。**P.85**を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読み込み中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。を押していったん終了し、メモリーに蓄積したファクスを出力して消去してから行ってください。**P.106**を参照してください。

原稿を直接送信する
〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

- 2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

- 3    を押す

5. リアルタイム ソウシン

- 4  でリアルタイム送信の設定を選択する

「コンカイノミ：On」「コンカイノミ：Off」「On」「Off」の中から選択します。

リアルタイム ソウシン：On

- 5  を押す

ウケツケマシタ

- 6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セツタイ

1. スル 2. シナイ

- 7 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 本製品は通常、メモリー送信をしています。リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、タイマー送信やポーリング送信の送信方法は原稿送信になり、メモリー送信を選択することができません。
P.84 を参照してください。

相手の操作で原稿を送信する

標準ポーリング送信をする

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3     を押す
 ホーリング ソウシ

4  で「ヒョウジュン」を選択して  を押す
 ホーリング : ヒョウジュン

5  (原稿送信) または  (メモリー送信) を押す
 1. ゲンコウ 2. メモリー

6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す
 ホカノ セッテイ
 1. スル 2. シナイ

7 を押す

手順5で①^アを選んだときは

原稿はそのまま「ポーリング タイキチュウ」と表示されます。

手順5で②^カを選んだときは

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは1回のみのも送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは **P.85** を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取る「機密ポーリング送信」を行うことができます。機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。

1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3 ②^カ ②^カ ⑥^ハ を押す

6. ホーリング ソウシ

4 で「キミツ」を選択して を押す

ホーリング : キミツ

5 4桁のパスワードを入力して を押す

ホーリング : XXXX

6 ①^ア (原稿送信) または ②^カ (メモリー送信) を選択して を押す

1. ケンコウ 2. メモリー

7 他の設定を続けるときは①^アを、終了するには②^カを押す

ホカノ セッテイ

1. スル 2. シナイ

8 を押す

手順6で①^アを選んだときは

原稿はそのまま「ポーリング タイキチュウ」と表示されます。

手順6で②^カを選んだときは

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは1回のみのも送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

3     を押す

9. カイガ イソウシ モード

4  で「On」を選択する

カイガ イソウシ: On

5  を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セッテイ

1. スル 2. シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから  を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなる場合があります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3     を押す

3. タイマー ソリューション

4 送信する時刻を入力して  を押す

例：午後3時5分の場合は「1505」

シテイ ショク=15:05

5  (原稿送信) または  (メモリー送信) を選択して  を押す

1. ケンコウ 2. メモリー

補足

- リアルタイム送信が「On」に設定されていると、原稿送信に設定されるため選択画面は表示されません。メモリー送信を選択するには、リアルタイム送信を「Off」に設定してください。**P.80** を参照してください。

6 他の設定を続けるときは  を、終了するには  を押す

ホカノ セッテイ

1. スル 2. シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して  を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1回の通信で設定された時間に送信することができます。

1     を押す

4. トリマトメ ソリューション

2  で「On」を選択する

トリマトメ ソリューション: On

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 を押す

7. ツウシン マチ カクニン

2 送信待ちが複数のときは で選択して を押す

- 送信待ちが1件のときは手順3に進みます。
- 確認のみのときは  を押します。

#001 12:34 スズキ
カイジョ 1. スル 2. シナイ

3 解除するときは を押す

解除を中止するときは  を押します。

ウケツケマシタ

4 を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには「セッテイガ サレテイマセン」と表示されます。

《ファクス受信》

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1     を押す

5. ジェット シュクショウ

2  で「On」を選択する

ジェット シュクショウ: On

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1     を押す

6. インサ ノウト

2  で印刷濃度を設定する

 を押すと濃くなり、 を押すと薄くなります。

▼ □ □ ■ □ □ + ▲

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は中間に設定されています。

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します(メモリー代行受信)。

- ・記録紙がなくなったとき(キロクシラ オクレマセン)
- ・トナーがなくなったとき(トナーガ アリマセン)
- ・記録紙がつまったとき(キロクシガ ツマッテイマス)
- ・記録紙のサイズを間違ってセットしたとき(キロクシサイズ マチガイ)

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されません。

注意

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、受話器を取る

2 「ポーポー」と音がしていたら を押す

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、 を押してファクスモードにしてから

 を押してファクスを受信します。

3 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては **P.45** を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。**P.88** を参照してください。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して  を押してください。
- ADF(自動原稿送り装置)に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF(自動原稿送り装置)に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを受信します。

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信をOnに設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。親切受信をOnに設定していない場合は、手順2を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受話器を持ったまま を押す

3 受話器を戻す

本製品に接続されている電話機で受信する

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信をOnに設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。親切受信をOnに設定していない場合は、手順2を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

本製品がファクス受信を始めます。

ジュシンチュウ

3 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

注意

- ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。
- リモート受信するには、    で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。

親切受信で受信する

受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと、自動的にファクスを受信します。

1 を押す

3. シンセツ ジュシン

2 で「On」を選択する

シンセツ ジュシン:On

3 を押す

ウケツケマシタ

4 を押す

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 親切受信を「On」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシンチュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは  を押してください。
- 親切受信を「Off」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、 を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、本製品に接続されている電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。**P.89** を参照してください。
- 親切受信機能は、受話器を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をOnに設定しているときは、本製品に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。**P.88**を参照してください。

親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「Off」になっている場合、本製品に接続されている電話機を操作してファクス受信をさせることができます。

- 1 本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を押す
本製品がファクス受信を始めます。

ジュシynchウ

- 2 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定している場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、    で「リモート ジュシynch」を「On」に設定しておく必要があります。

リモート受信設定のしかた

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

- 1     を押す

4. リモート ジュシynch

- 2  で「On」を選択する

リモート ジュシynch: On

- 3  を押す

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

キトウ バンゴウ: #51

- 4  を押す

ウケツケマシタ

- 5  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本製品の操作で相手の原稿を受信する

標準ポーリング受信する

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

1     を押す

7. ホーリング ジュシ

2  で「ヒョウジュン」を選択して  を押す

ホーリング : ヒョウジュン

3 相手先のファクス番号を入力する

ダイヤル シテクダサイ

スタートホタンヲ オス

4  を押す

ダイヤルを開始します。

ウケツケマシタ

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- ポーリング受信の場合、通話料はこちらの負担となります。

順次ポーリング受信する

1 回の操作で、最大 270ヶ所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1     を押す

7. ホーリング ジュシ

2  で「ヒョウジュン」を選択して  を押す

ホーリング : ヒョウジュン

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して  を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

- ・ 例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

      を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して  を押す

5 すべての相手先を入力して  を押す

ダイヤルを開始します。

ウケツケマシタ

機密ポーリング受信する

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。

機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

1 を押す

7. ホーリング シュシ

2 で「キミツ」を選択して を押す

ホーリング : キミツ

3 4桁のパスワードを入力する

ホーリング : XXXX

4 を押す

ダイヤル シテクダサイ

スタートホ タンヲ オス

5 相手先のファクス番号を入力して を押す

ダイヤルを開始します。

ウケツケマシタ

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定 〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 を押す

7. ホーリング シュシ

2 で「タイマー」を選択して を押す

ホーリング : タイマー

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

シテイ シュコク : 15 : 15

4 を押す

ダイヤル シテクダサイ

スタートホ タンヲ オス

5 相手先のファクス番号を入力して を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

ウケツケマシタ

補足

時刻指定ポーリング(タイマーポーリング受信)を解除したいときは **P.85** を参照してください。

3章

電話帳

電話帳

電話帳を作成する	94
ワンタッチダイヤルを登録する	94
ワンタッチダイヤルを変更する	95
短縮ダイヤルを登録する	96
短縮ダイヤルを変更する	97
グループダイヤルを登録する	98
グループダイヤルを変更する	99

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する	100
着信履歴を確認する	100
着信履歴をワンタッチダイヤルまたは 短縮ダイヤルに登録する	100

《電話帳》

電話帳を作成する

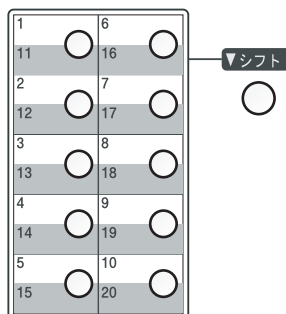
ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1～20（最大20件）に登録することができます。

1 Menu Set 2 ABC 3 DEF 1を押す

1. デンワチョウ/ワンタッチ

2 登録するワンタッチボタンを押す



- 11～20に登録するときは、○を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して Menu Setを押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

#001:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ナマエ:

5 Menu Setを押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返します。

ウケツケマシタ

6 停止/終了を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に^{記号1}（＊）を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、^{トーン}（）を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは）（2回押）でスペースを入れることができます。
- 文字入力のしかたについてはP.160を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、^{再ダイヤル/ポーズ}（○）を押します。液晶ディスプレイに「-」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.113を参照してください。

注意

- ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.78を参照してください。
- 電話番号を間違えて登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 を押す

1. デンワチョウ/ワンタッチ

2 変更するワンタッチボタンを押す

登録されている内容が表示されます。

#005: スキ ケイコ

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

3 を押す

変更しないときは、 を押します。

#005: 03XXXXXXXX

4 新しい相手先の電話番号を入力して

 を押す

電話番号は20桁まで入力できます。(カッコは登録できません。)

5 新しい相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

6 を押す

ウケツケマシタ

7 を押す

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

● 手順3で  を押した後、 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は  を押します。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1 を押す

2. テンワチョウ/タンシュク

2 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して を押す

- 001～200の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

※005:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ナマエ:

5 を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返します。

ウケツケマシタ

6 を押す

停止/終了

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に  を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、 を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては **P.160** を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、 を押します。液晶ディスプレイに「-」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。**P.113** を参照してください。

注意

- ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。**P.78** を参照してください。
- 電話番号を間違えて登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1     を押す

2. デンワチョウ/タンシュク

2 変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して  を押す

登録されている内容が表示されます。

X005:エイゴウ タイ

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

3  を押す

変更しないときは、 を押します。

X005:03XXXXXXXX

4 新しい相手先の電話番号を入力して

 を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

5 新しい相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

6  を押す

ウケツケマシタ

7  を押す

補足

短縮ダイヤルを削除するには

● 手順3で  を押した後、 を押すと電話番号が

消去されます。確定する場合は  を押します。

グループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を、1グループとしてまとめて登録できます。グループダイヤルとして登録し、同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。**P.79**、**P.90**を参照してください。

注意

- グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

1 を押す

3. デンワチョウ/グループ

2 グループダイヤルとして使用するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- ワンタッチボタンに登録するとき
ワンタッチボタンを押します。
- 短縮ダイヤルに登録するとき
 を押して短縮番号 (001 ~ 200) を入力し、 を押します。

3 グループ番号をダイヤルボタンで1～8を入力して を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオシテ クダサイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

グループダイヤル: G01

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例: ワンタッチダイヤル: [5]、短縮ダイヤルを     と入力した場合

G01: #005X009

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力して を押す

6 グループ名を入力する

グループ名は15文字まで登録できます。

ナマエ:

7 を押す

ウケツケマシタ

8 を押す

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大219件まで登録できます。
- グループダイヤルは8グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- ワンタッチダイヤルの11～20を登録するときは、 を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 文字入力のしかたについては **P.160** を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。**P.113** を参照してください。

グループダイヤルを変更する

1     を押す

3. デンワチョウ/グループ

2 変更するグループダイヤル番号を入力する

- ・ワンタッチボタンに登録されているとき
ワンタッチボタンを押します。
- ・短縮ダイヤルに登録されているとき
 を押して短縮番号 (001 ~ 200) を入力し、 を押します。

G01:エイゴウ

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

3  を押す

変更しないときは、 を押します。

G01:#005*009

4 変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して  を押す

5 グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力する

変更しない場合はそのまま  を押します。

6  を押す

ウケツケマシタ

7  を押す

補足

グループダイヤルを削除するには

- 手順3で  を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で  を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は  を押します。

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- ・着信履歴を検索する
- ・電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- ・着信履歴リストを印刷する **P.114**

着信履歴を確認する

- 1  を押しながら  を押す

05) 052XXXXXXX

- 2  で確認する

02) 03XXXXXXX

- 3  を押す

詳細情報が表示されます。

02) 03XXXXXXX

02/24 15:01

- 4  を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

- 1  を押しながら  を押す

05) 052XXXXXXX

- 2  で電話番号を選択して  を押す

02) 03XXXXXXX

02/24 15:01

- 3 もう一度  を押す

- 4 ^ア1 「1.デンワチョウ/ワンタッチ」または
^カ2 ^{ABC} 「2.デンワチョウ/タンシユク」を押す

- 5 相手先の名前を入力して  を押す

- ・名前は15文字まで入力できます。
- ・登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- ・番号に空きがないときは「トウロクガ イッパイデス」と表示されたあと、手順2に戻ります。

ナマエ: スズキ ケイコ

補足

「ソツケンワ ユウセン」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

4章

転送・リモコン機能

転送機能

電話呼び出し機能とファクス転送	102
電話呼び出し機能とファクス転送について	102
ファクス転送の流れ	102
ファクス転送を設定する	103
電話呼び出し機能の流れ	104
電話呼び出し機能を設定する	105
ファクスをメモリーで受信する	106
メモリー受信を設定する	106
メモリーに受信したファクスを印刷する	106

リモコン機能

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス	107
暗証番号を設定する	107
外出先から本製品を操作する	107
リモコンコードで設定できる機能 [コード一覧]	109

《転送機能》

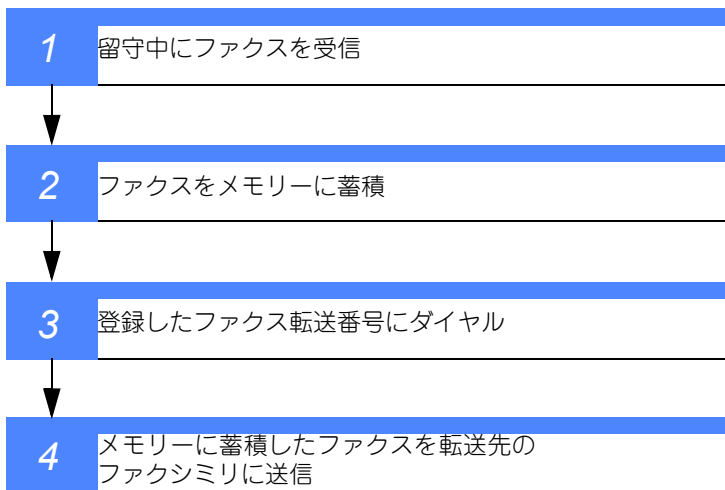
電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。



電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

1     を押す

1. テンソウ/メモリー・ジ ュシ ョン

2  で「ファクス テンソウ」を選択して

 を押す

ファクス テンソウ

3 転送先番号（転送先の電話番号）を入力して  を押す

4  で設定を選択する

- 「ホンタイデモ インサツ スル」：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「ホンタイデハ インサツ シナイ」：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

ホンタイデモ インサツ スル

5  を押す

ウケツケマシタ

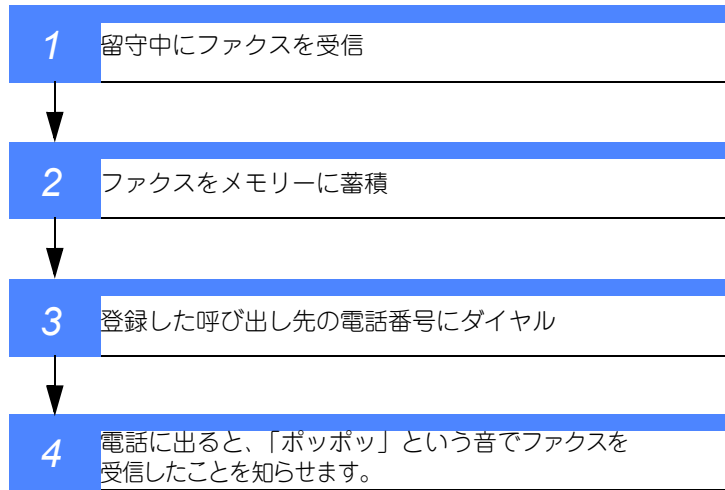
6  を押す

ⓧ 停止/終了

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。**P.110** を参照してください。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能の流れ



電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1     を押す

1. テンソウ/メモリー・シ ュ シン

2  で「デンワ ヨビダシ」を選択して  を押す

デンワ ヨビダシ

3 呼び出し先番号を入力する

4  を押す

ウケツケマシタ

5  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。**P.110** を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスをメモリーで受信する

受信したファクスを本製品のメモリーに蓄積して転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1     を押す

1. テンソウ/メモリー・ジュシン

2  で「メモリー・ジュシン」を選択する

メモリー・ジュシン

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大1500ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないうちに、メモリー受信を「Off」にすると「ファクス ショウキョ?」「1. スル 2. シナイ」が交互に表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、 を押してください  を押すとメモリーから消去されます。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1     を押す

3. ファクス シュツリョク

2  を押す

印刷を開始します。

スタートボタン オス

3 印刷終了後  を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ アリマセン」と表示されますので  を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3桁の数字と*）を設定します。

1     を押す

2. アンショウ バンゴウ

2 暗証番号を入力する

ダイヤルボタンで3桁の番号を入力してください。
(暗証番号は最後に「*」を加えた4桁の番号になります。)

アンショウバンゴウ: ---*

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

暗証番号は「3桁の数字」を入力してください。4桁目の「*」は変えることができません。

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+*)を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。P.109を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、  を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
 - ・ **ファクス専用モードのとき**
メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。メモリー受信については、**P.106**を参照してください。
 - ・ **自動切替モードのとき**
本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
 - ・ **外付留守電モードのとき**
本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
 - ・ **電話モードのとき**
呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ビッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ビッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ビビビッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ビー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ビッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機 能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、 ■ を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について次のページで手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(6)(2)**を押す
- 4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に**(#)**を2回押す
ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(5)(4)**を押す
- 4 「ピー」という音が聞こえたら、新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に**(#)**を2回押す
転送番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 「ピー」という応答音が聞こえたら、**(9)(0)**を押して受話器を戻す
正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「*」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、**(#)**を1回押します。**(#)**を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

5章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷	112
送信レポートを印刷する	113
機能案内リストを印刷する	113
電話帳リストを印刷する	113
通信管理レポートを印刷する	113
設定内容リストを印刷する	114
着信履歴リストを印刷する	114
送信レポートの出力設定	114
通信管理レポートの出力間隔を設定	115

レポート・リストの印刷

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチをOffにしたまま3～4日放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

- 1  を押す
- 2  で「1.ソウシン レポート」を選択する

1. ソウシン レポ[°]ート
- 3  を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

- 1  を押す
- 2  で「2.キノウアンナイ」を選択する

2. キノウアンナイ
- 3  を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

- 1  を押す
- 2  で「3.デンワチョウ リスト」を選択する

3. デ[°]ンワチョウ リスト
- 3  を押す

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。

- 1  を押す
- 2  で「4.ツウシン カンリ レポート」を選択する

4. ツウシン カンリ レポ[°]ート
- 3  を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。

1  を押す

2  で「5.セッテイナイヨウ リスト」を選択する

5. セッテイナイヨウ リスト

3  を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1  を押す

2  で「6.チャクシンリレキ リスト」を選択する

6. チャクシンリレキ リスト

3  を押す

送信レポートの出力設定

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1  2  4  1  を押す

1. ソウシン レポ-ート

2  で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「On」「On+イメージ」「Off」「Off+イメージ」の中から選択します。

ソウシン: Off+イメージ

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

- お買い上げ時は「Off+イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の4種類の中から選択します。
 - On: 送信後に毎回自動的に印刷します。
 - On+イメージ: 「On」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
 - Off: 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
 - Off+イメージ: 「Off」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
- リアルタイム送信時には画像は表示されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 を押す

2. ツウシン カンリ カンカク

2 で間隔を設定して を押す

- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」
「6 シカンゴト」「12 シカンゴト」
「24 シカンゴト」「2 カ ゴト」(2日ごと)
「7 カ ゴト」(7日ごと)の中から選択します。
- 「7 カ ゴト」を設定したときは、曜日を  で
選択して  を押してください。

50 ケン ゴト

3 開始時間を入力する

開始時間は、「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」以外を選択した場合のみです。

カシ ジ カン:00:00

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 を押す

ウケツケマシタ

5 を押す

補足

お買い上げ時は、「50 ケン ゴト」に設定されています。

6章

コピー

コピーをする

コピーをする.....	118
コピーする.....	118
「メモリーガ イッパデス」と表示されたときは.....	119

コピー設定

一時的に設定する.....	120
拡大・縮小コピーをする.....	120
コピーの画質を設定する.....	121
コントラストを調整する.....	121
ソートコピーかスタックコピーかを設定する.....	122
N in 1コピー.....	123
N in 1コピーのしかた.....	123
設定内容を保持する.....	124
画質の設定を変更する.....	124
コントラスト設定を変更する.....	124

《コピーをする》

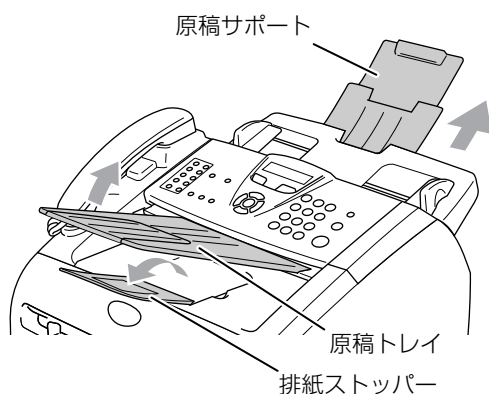
コピーをする

コピーする

- 1**  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



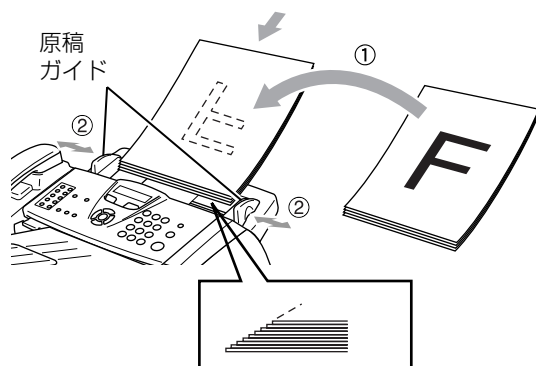
- 2** 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起す



- 3** 原稿のコピーする面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む (①)

原稿は一度に20枚までセットできます。

- 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる (②)



- 4** コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

複数のコピーを仕分けしてコピー (ソートコピー) するときは **P.122** を参照してください。

- 5**  を押す

補足

- ADF (自動原稿送り装置) に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF (自動原稿送り装置) に原稿がつまったときは **P.127** を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは  を押してください。

注意

原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは 1 枚ずつセットしてください。

「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本製品内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メモリーガ イッパ イデス

このときは、を押して読み込まれた原稿のみをコピーするか、を押してコピーをキャンセルし、メモリーに蓄積されたファクスを出力して消去してください。

メモリーに受信したファクスを印刷します。**P.106**を参照してください。

補足

「メモリーガ イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

《コピー設定》

一時的に設定する

拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

- 1**  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



- 2** ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

- 3** コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

- 4** オプション  を押し、 で「カクダイ/シュクショウ」を選択して  を押す

- 5**  で倍率を選択する

100%

倍率は以下の中から選択します。

- 100%
- 115% B5→A4
- 141% A5→A4
- 200%
- ジドウ
- カスタム
(50%~200% : ダイヤルボタンで入力)
- 50%
- 70% A4→A5
- 82% B4→A4
- 87% A4→B5
- 91% フルページ
- 94% A4→USレター
- 97% USレター→A4

- 6**  を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率 (50%~200%) を入力して  を押してください。

ウケツケマシタ

- 7** スタート  を押す

補足

- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- 原稿サイズがB4のとき「ジドウ」を選択したときは、記録紙トレイにセットされているサイズに縮小されます。

コピーの画質を設定する

画質を変えてコピーすることができます。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

- 3 コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

- 4 オプション  を押し、 で「コピー ガシツ」を選択して  を押す

ジドウ

- 5  で印刷するコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

- ・ジドウ：自動的に画質を調整します。
- ・テキスト：薄い文字をはっきりと印刷します。
- ・シャシン：グラデーションをきれいに印刷します。

- 6  を押す

ウケツケマシタ

- 7  を押す

コントラストを調整する

コピーのコントラストを変えることができます。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

- 3 コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

- 4 オプション  を押し、 で「コントラスト」を選択して  を押す

コントラストは5段階で調整できます。 を押すと濃くなり、 を押すと薄くなります。

▼ - □ □ □ □ + ▲

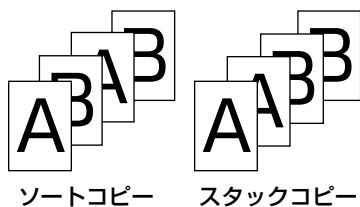
- 5  で印刷するコピーのコントラストを調整する

- 6  を押す

ウケツケマシタ

- 7  を押す

ソートコピーかスタックコピーかを設定する



- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

- 3 コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

- 4 オプション  を押し、 で「スタック/ソート コピー」を選択して  を押す

スタック/ソート コピー

- 5  で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択する

スタックコピー

- 6  を押す

ウケツケマシタ

- 7  を押す

補足

- お買い上げ時は、「スタックコピー」に設定されています。
- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

- 原稿の読み込み中に「メモリーがいっぱい」と表示されたときは [P.119](#) を参照してください。
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

〈2 in 1 (タテナガ)〉



〈2 in 1 (ヨコナガ)〉



〈4 in 1 (タテナガ)〉



〈4 in 1 (ヨコナガ)〉



N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

- 1  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押す



- 2 ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

- 3 コピーしたい部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力する

- 4 オプション  を押し、 で「レイアウト コピー」

を選択して  を押す

レイアウト コピー

- 5  で希望するレイアウトを選択する

「2in1 (タテナガ)」 「2in1 (ヨコナガ)」 「4in1 (タテナガ)」 「4in1 (ヨコナガ)」 の中から選択します。

2in1 (タテナガ)

- 6  を押す

ウケツケマシタ

- 7  を押す

原稿の読み取りが終わるとコピーが開始されます。



N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

《コピー設定》

設定内容を保持する

お買い上げ時の本製品の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合は **P.120** を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1    を押す

1. コピー 画質

2  で画質を選択する

画質:ジドウ

「テキスト」「シャシ」「ジドウ」の中から選択します。

- ジドウ：自動的に画質を調整します。
- テキスト：薄い文字をはっきりと印刷します。
- シャシ：グラデーションをきれいに印刷します。

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

コントラスト設定を変更する

「コントラスト」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1    を押す

2. コントラスト

2  でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。 を押すと濃くなり、 を押すと薄くなります。

▼ - □ □ ■ □ □ + ▲

3  を押す

ウケツケマシタ

4  を押す

補足

お買い上げ時は中間に設定されています。

7章

こんなときは

日常のお手入れ

紙づまりについて	126
紙づまりのときのメッセージ	126
ADF（自動原稿送り装置）で原稿が つまったときは	127
前面に記録紙がつまったときは	127
背面に記録紙がつまったときは	128
定期メンテナンス	130
スキャナ（読み取り部）の清掃	131
スキャナウィンドウの清掃	131
ドラムユニットのお手入れ	132
給紙ローラーの清掃	133

消耗品の交換

トナーカートリッジとドラムユニットについて	134
トナーカートリッジの交換	135
トナーカートリッジ交換のメッセージ	135
トナーカートリッジ交換のしかた	137
ドラムユニットの交換	139
ドラムユニット交換のしかた	140

製品情報

製品情報	141
シリアル番号を確認する	141
印刷枚数を確認する	141
ドラム寿命を確認する	141
本製品の廃棄について	141

設定機能の初期化

初期状態に戻す	142
---------------	-----

困ったときには

困ったときには	143
こんなときには	143
エラーメッセージ	144
故障かな？と思ったら	147
動作がおかしいときは （修理を依頼される前に）	158

紙づまりについて

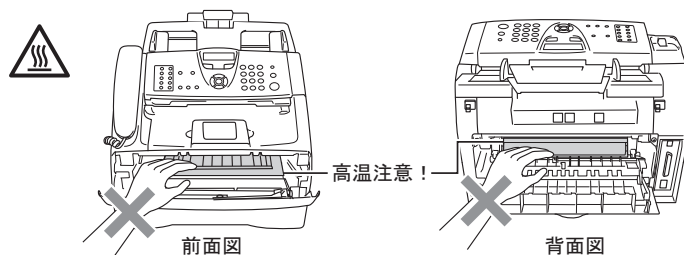
紙づまりのときのメッセージ

紙づまりのときは、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

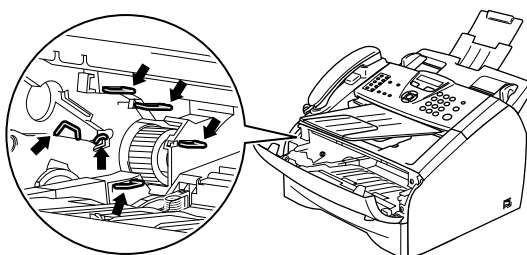
原稿がつまったとき P.127 を参照してください。	ゲンコウカ ツマッティマス
記録紙がつまったとき P.127 を参照してください。	キロクシカ ツマッティマス

注意

- 本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源をONにしたまま10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

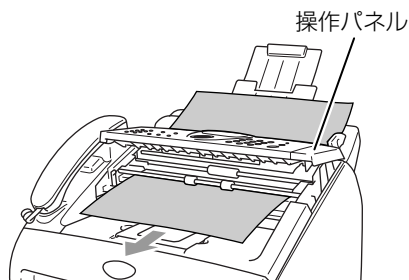


- つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが散乱することがあります。
- 本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



ADF（自動原稿送り装置）で原稿が つまったときは

- 1 送り込まれていない原稿を取る
- 2 操作パネルを開く
- 3 つまった原稿を手前に引いて取り除く



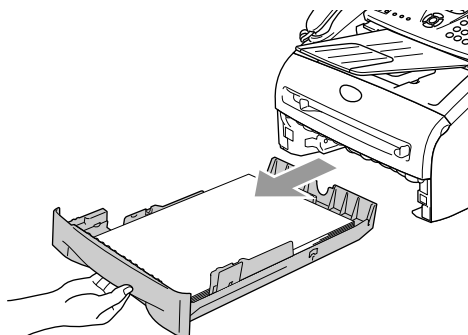
- 4 操作パネルを閉じる

停止/終了

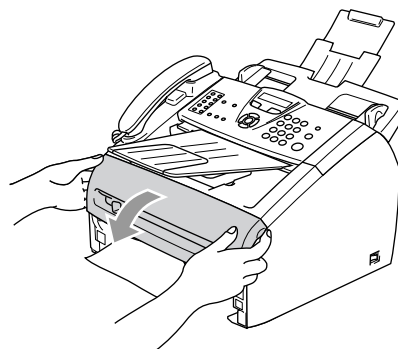
- 5  を押す

前面に記録紙がつまったらきは

- 1 本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待つ
- 2 記録紙トレイを完全に引き出す



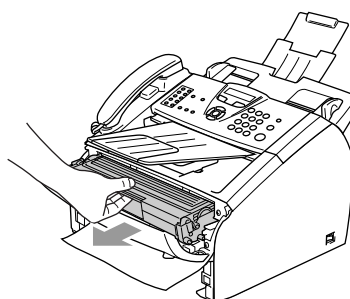
- 3 フロントカバーを開く



- 4 ドラムユニットを本製品から取り出す

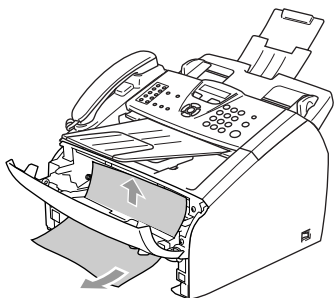
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

もし、ドラムユニットが簡単に引き出せないときは、無理に引き出さないでください。



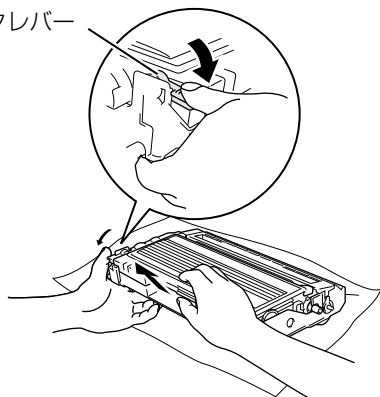
次ページへ続く

- 5** つまった記録紙を取り除く
破らないようにゆっくりと引き出してください。



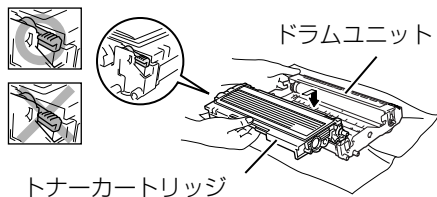
- 6** ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

ロックレバー



- 7** ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する
つまった記録紙があるときは、取り出します。

- 8** トナーカートリッジをドラムユニットに装着する
このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



- 9** 本製品にドラムユニットを取り付ける

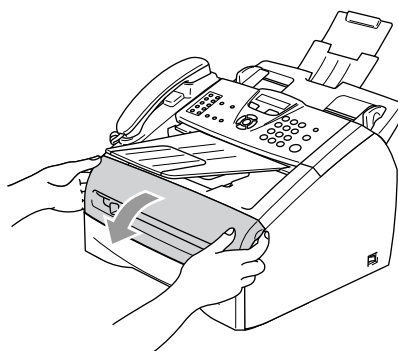
- 10** フロントカバーを閉じる

- 11** 記録紙トレイを本製品に戻す

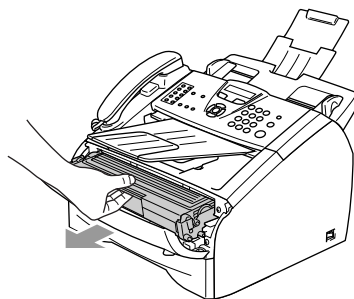
背面に記録紙がつまったときは

- 1** 本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待つ

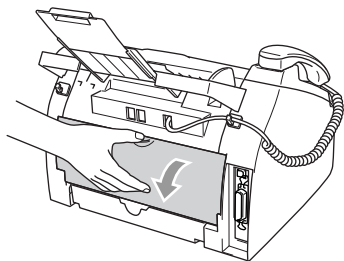
- 2** フロントカバーを開く



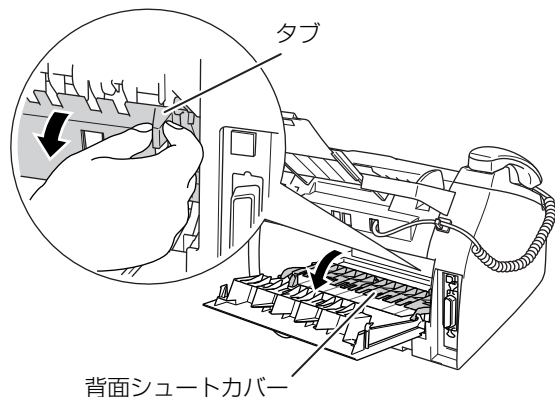
- 3** ドラムユニットを本製品から取り出す
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



4 バックカバーを開く

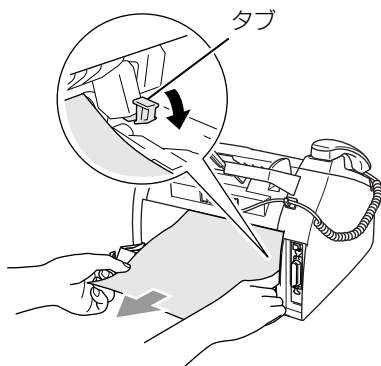


5 タブをつまみ、背面シュートカバーを開く



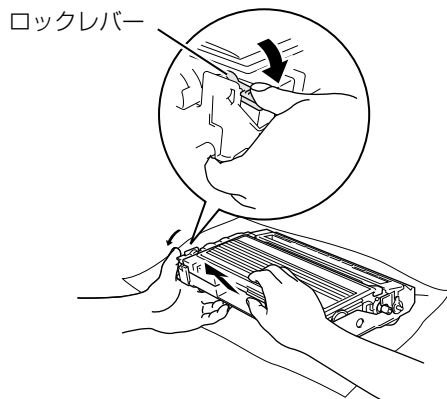
6 つまった記録紙を引き出す

簡単に取り除けない場合は、無理に引っばらず、片方の手で青色のタブを押し下げ、もう一方の手でつまった記録紙をゆっくり引き抜いて取り除きます。



7 背面シュートカバーを閉じ、バックカバーを閉じる

8 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

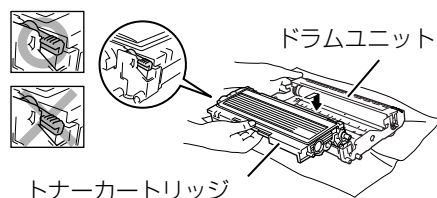


9 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

つまった記録紙があるときは、取り出します。

10 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



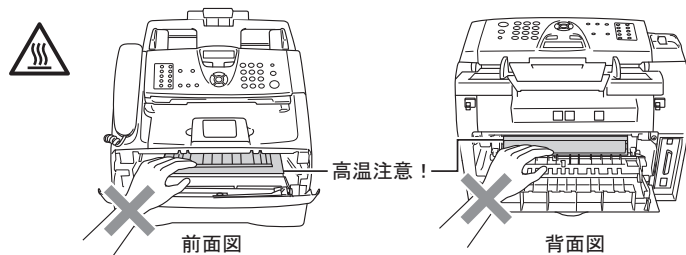
11 本製品にドラムユニットを取り付ける

12 フロントカバーを閉じる

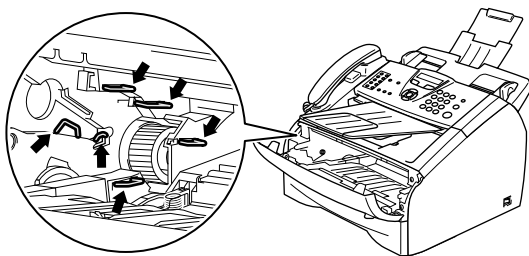
定期メンテナンス

注意

- 本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源をOFFにしてから10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



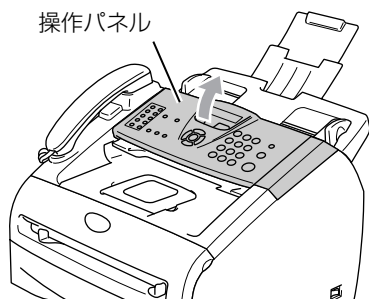
- つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが散乱することがあります。
- 本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



スキャナ（読み取り部）の清掃

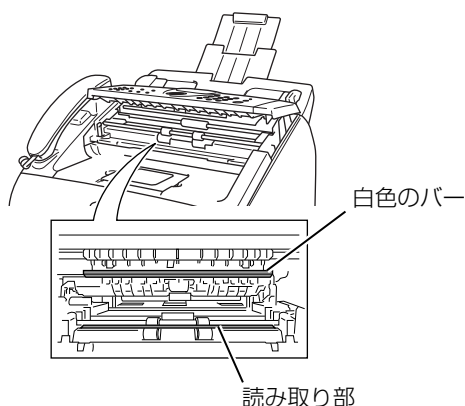
いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

1 操作パネルを開く



2 柔らかい布に OA クリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭く

- 読み取り部
- 白色のバー



補足

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

3 操作パネルを閉じる

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

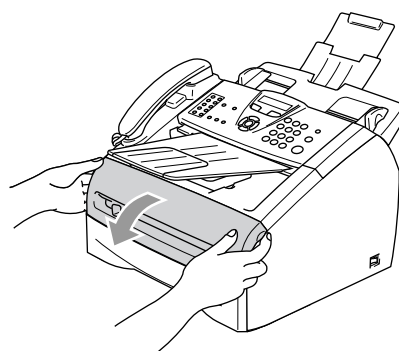
スキャナウィンドウの清掃

注意

■ スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

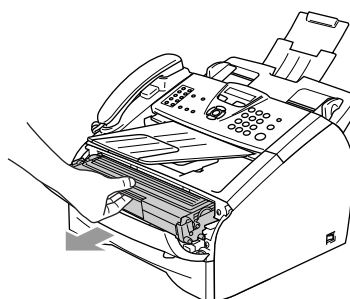
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く



3 ドラムユニットを本製品から取り出す

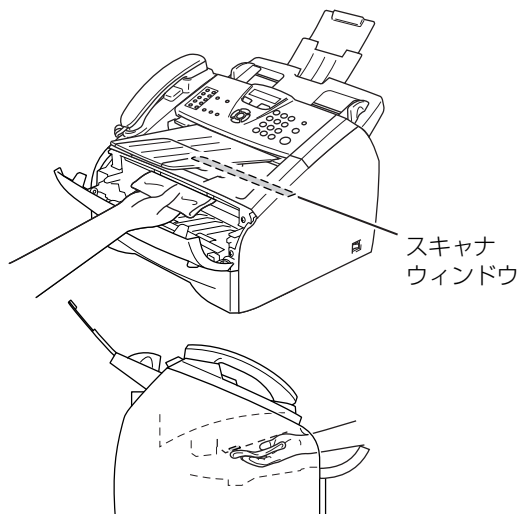
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



次ページへ続く

4 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをきれいに拭く

スキャナウィンドウが汚れると、薄い印刷になります。



5 本製品にドラムユニットを取り付ける

6 フロントカバーを閉じる

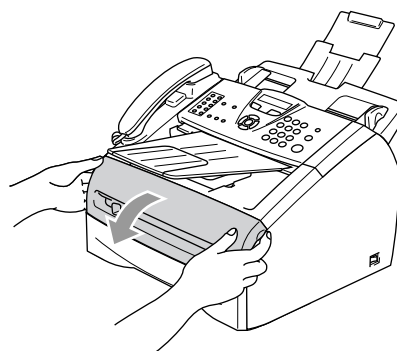
7 電源スイッチをONにする

ドラムユニットのお手入れ

以下の操作でコロナワイヤーの清掃を行ってください。

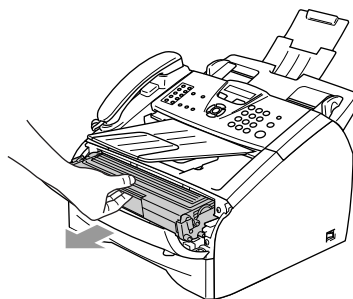
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

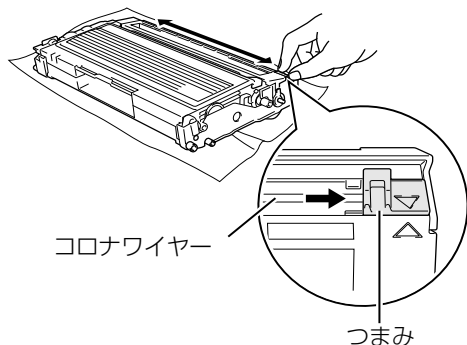


3 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



- 4 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



- 5 青色のつまみを必ず元の位置 (▲) に戻す

- 6 本製品にドラムユニットを取り付ける

- 7 フロントカバーを閉じる

- 8 電源スイッチをONにする

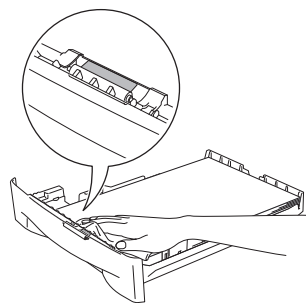
給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

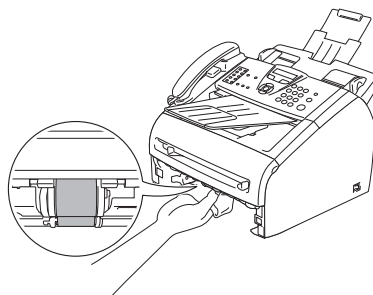
- 1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

- 2 記録紙トレイを完全に引き出す

- 3 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内のグレーのパットを拭く



- 4 本製品内部にある給紙ローラー (2つ) を拭く



- 5 記録紙トレイを本製品に戻す

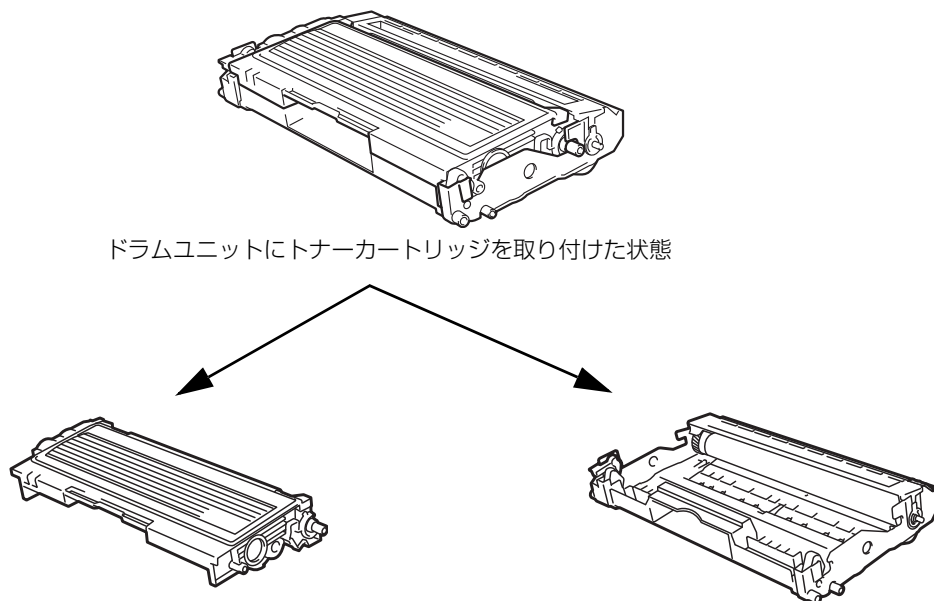
- 6 電源スイッチをONにする

《消耗品の交換》

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



トナーカートリッジ (TN-25J)
文字を書いたり表面を色づけするための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット (DR-20J)
トナーを記録紙に写すユニットです。

交換のしかたについては、「トナーカートリッジ交換のしかた」**P.137**、または「ドラムユニット交換のしかた」**P.140**を参照してください。

補足

本製品に付属のトナーカートリッジは約1000枚※印刷できます。
トナーカートリッジ (TN-25J) は約2500枚※印刷できます。
ドラムユニット (DR-20J) は約12000枚印刷できます。
※A5を印刷密度5%で印刷した場合

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、FAXによる注文も承っております。**P.181**を参照してください。

《消耗品の交換》

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナーが少なくなりました

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナーが尽きました

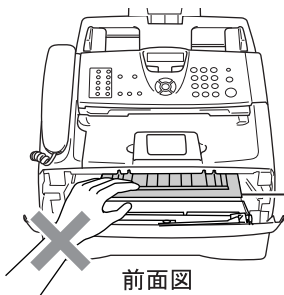
一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「まもなくトナー切れです」のメッセージが表示されてから約100ページを印刷した頃が交換の目安です。(A4サイズ/印刷密度5%の場合)
トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

⚠ 注意

- 本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

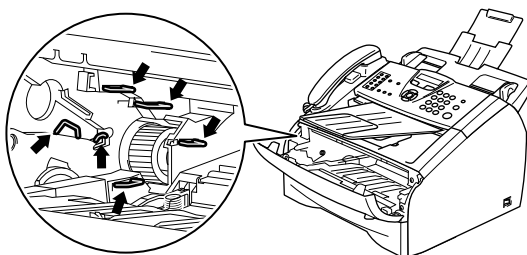


前面図

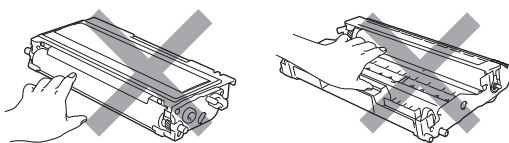
- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
- トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

- トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-25J）をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。
- 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合がありますので、取り扱いには注意してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



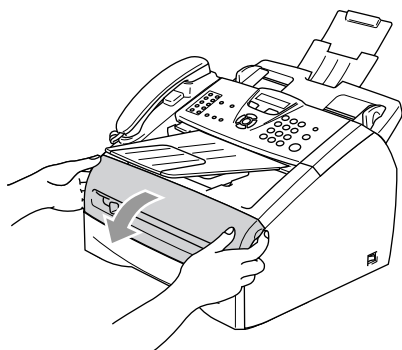
- ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



トナーカートリッジ交換のしかた

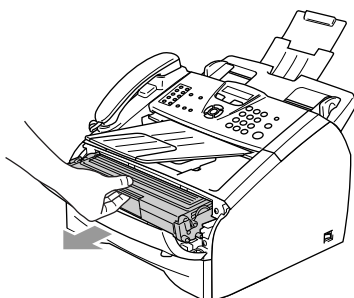
1 本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待つ

2 フロントカバーを開く



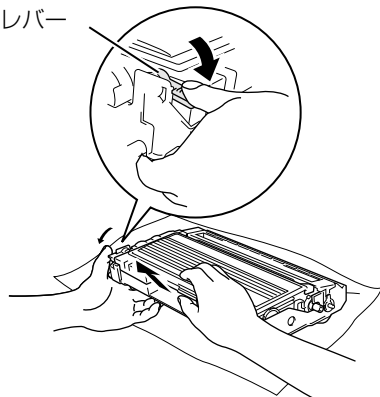
3 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



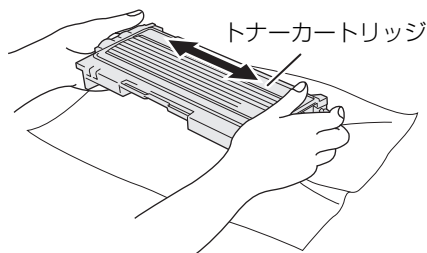
4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、古いトナーカートリッジを取り出す

ロックレバー

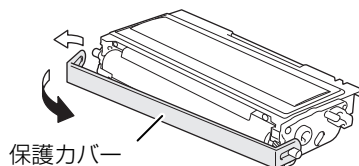


5 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

6 トナーカートリッジを左右に 5、6 回 ゆっくりと振ってから、黄色の保護カバーを取り除く



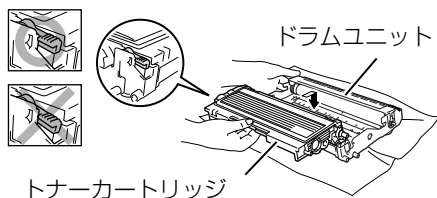
トナーカートリッジ



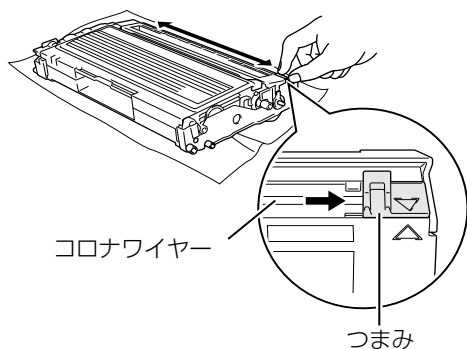
保護カバー

7 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

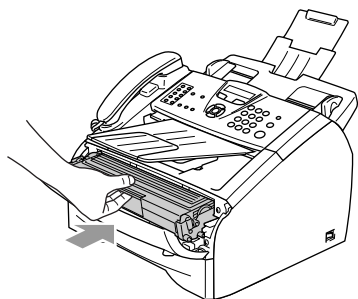


8 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



9 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

10 本製品にドラムユニットを取り付ける



11 フロントカバーを閉じる

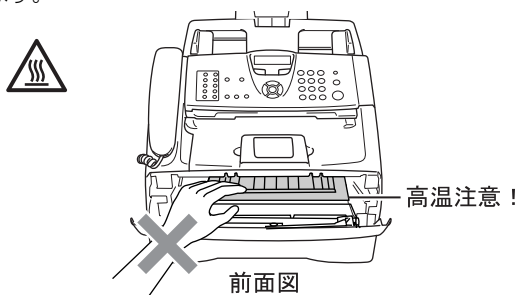
《消耗品の交換》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

⚠ 注意

- 本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
- トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

- ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。
- ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-20J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

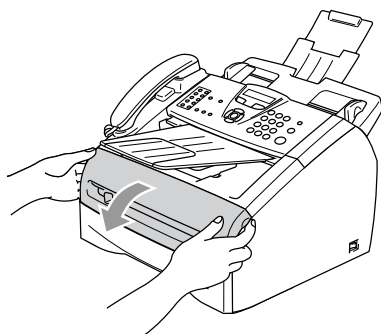
補足

- 液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- 「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。**P.130** を参照してください。

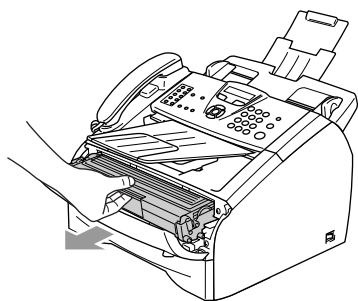
ドラムユニット交換のしかた

1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

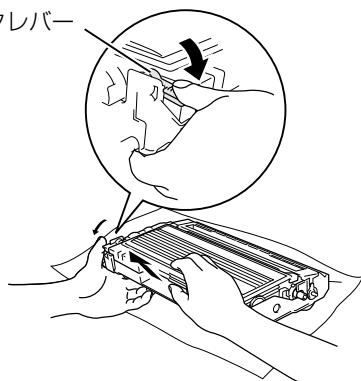


3 ドラムユニットを本製品から取り出す
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

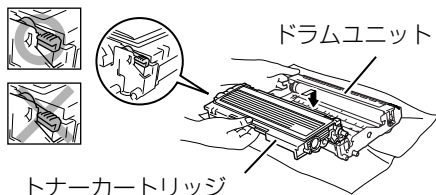
ロックレバー



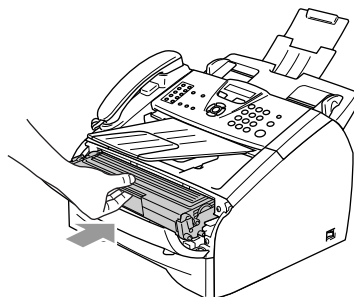
5 新しいドラムユニットを開封して取り出す

6 トナーカートリッジを、新しいドラムユニットに装着する

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

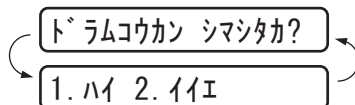


7 本製品にドラムユニットを取り付ける



8 フロントカバーが開いていることを確認する

9 オプション
○を押す



10 ①を押す

液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

11 フロントカバーを閉じる

《製品情報》

製品情報

シリアル番号を確認する

本製品のシリアル番号を確認します。

1    を押す

2 シリアル番号を確認して  を押す

印刷枚数を確認する

本製品は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1    を押す

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス/リスト」のカウンタ値が表示されます。

2. インサツマイスウ ヒョウジ

2  で表示する項目を選択する

ゴウケイ : XXXXXX

コピ- : XXXXXX

フ- リンタ : XXXXXX

ファクス/リスト : XXXXXX

3 印刷枚数を確認して  を押す

ドラム寿命を確認する

ドラム寿命は、以下の操作で確認できます。

1    を押す

液晶ディスプレイに2秒間、ドラム寿命が表示されます。

ノコリ: XX%

補足

- 「0%」と表示されても、印刷することができますが、早目にドラムユニットを交換してください。
- ドラムユニットは消耗品のため、定期的に交換する必要があります。
実際のドラム寿命は温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など、多くの要因に影響されます。表示されたドラム寿命は目安とお考えください。

2 ドラム寿命を確認して  を押す

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所 : 産業廃棄物処理業者に委託してください。

一般家庭 : お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

《設定機能の初期化》

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去したりすることができます。

注意

- 初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。**P.113** を参照してください。
- セキュリティ機能の操作ロックと設定ロックが On になっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。操作ロックと設定ロックをOffにしてください。**P.61** を参照してください。

個人情報消去する

注意

メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認の上消去してください。

次の内容を一度にすべて消去することができます。

- ・ お客様の名前・電話番号 **P.44** を参照してください。
- ・ セキュリティ機能の操作ロックと設定ロックで設定したパスワード **P.61** を参照してください。
- ・ 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容 **P.74** を参照してください。
- ・ 送付書のコメント **P.79** を参照してください。
- ・ 一括に送信する相手先の内容 **P.79** を参照してください。
- ・ タイマー送信する相手の内容 **P.84** を参照してください。
- ・ リモート起動番号 **P.89** を参照してください。
- ・ 電話帳の内容 **P.94** を参照してください。
- ・ グループダイヤルの内容 **P.98** を参照してください。
- ・ 着信履歴の内容 **P.100** を参照してください。
- ・ ファクス転送先の内容と転送設定解除 **P.102** を参照してください。
- ・ メモリーの内容（受信データ） **P.106** を参照してください。
- ・ 暗証番号 **P.107** を参照してください。
- ・ 通信管理レポートの内容 **P.113** を参照してください。
- ・ 送信レポートの内容 **P.113** を参照してください。

1

Menu Set **0** **8 TUV** を押す

8. コジ ンジ ョウホウ クリア

2

1 を押す

1. ケッテイ 2. キャンセル

3

1 を押す

- ・ 「ウケツケマシタ」と表示され、本製品が再起動します。
- ・ **2 ABC** を押すと、設定メニューに戻ります。

機能設定をもとにもどす

本製品の設定を一度に、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1

Menu Set **0** **9 WXYZ** を押す

9. キノウセツテイ リセット

2

1 を押す

1. ケッテイ 2. キャンセル

3

1 を押す

- ・ 「ウケツケマシタ」と表示され、本製品が再起動します。
- ・ **2 ABC** を押すと、設定メニューに戻ります。

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本製品をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

- 液晶ディスプレイにエラーが表示される。..... **P.144**
- トラブルの原因が分からない。..... **P.147**
- 本製品の詳しい仕様が知りたい。..... **P.168**
- 用語が分からない。..... **P.172**
- 消耗品を注文したい。..... **P.181**

それでも問題が解決しないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
アタシトナーデ アリマセン フロントカバー ヲ アケテ トナーヲ トリゾ シ モウイチド トリツテクダサイ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
インサツ デ キマセン トリアツカイセツメイショ 〈エラーメッセージ〉 ヲ コーランクダサイ	本製品に何らかの異常が発生した。	電源スイッチを Off にします。もう一度、電源スイッチを On にしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間 Off のままにした後、もう一度、On にしてみてください。
カバーガ アイテイマス バックカバー ヲ トジテクダサイ マタハ バックカバー ト ハイメンシュートカバー ヲ アケテ ツマツカミヲ トリノゾ イテクダサイ	バックカバーが完全に閉じていないか、本製品の背面で記録紙がつまっています。記録紙がつまっている場合、カバーが閉じていてもこのメッセージが表示されます。	バックカバーを閉め直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、つまった記録紙を取り除いてください。 P.128 を参照してください。
カバーガ アイテイマス フロントカバー ヲ トジテクダサイ	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
キロクエー カイクチュウ シバラク オマチクダサイ	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっている。	冷えるまで約20分お待ちください。
キロクシガ ツマツテイマス キロクシトレイ ヲ ヒキヌイテ ツマツカミヲ トリノゾ イテクダサイ	記録紙トレイで紙がつまっています。	P.126 を参照してください。
キロクシガ ツマツテイマス バックカバー ト ハイメンシュートカバー ヲ アケテ ツマツカミヲ トリノゾ イテクダサイ	本製品の背面で記録紙がつまっています。	
キロクシガ ツマツテイマス フロントカバー ヲ アケテ ドラム ヲ ヒキタシテ ツマツカミヲ トリノゾ イテクダサイ	本製品の内部で記録紙がつまっています。	
キロクサイズ マチガイ A4サイズ ノ キロクシヲセツシテ スタートボタンヲ オンテクダサイ	用紙サイズが間違っています。	A4 サイズの記録紙をセットして、「キホン セッテイ」の「キロクシ サイズ」を「A4」にして  を押してください。
キロクシ オクレマセン キロクシ イレナオシテ スタートボタンヲ オンテクダサイ	記録紙トレイに用紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットして  を押してください。それでも問題が解決しないときは、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。 P.133 を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
ゲンコウカ ツマツタイムス ツマツカミヨ トリノゾ イテ テイホク タンク オシテクダサイ	ADF (自動原稿送り装置) に原稿がつまっています。	操作パネルを開け、原稿を取り除いて ②停止/終了  を押してください。
ショカ デキマセン トリアツカイセツメイショ 〈エラーメッセージ〉 ヲ ゴランクダサイ	本製品に何らかの異常が発生した。	電源スイッチをOffにします。もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度、Onにしてみてください。
スキャン デキマセン トリアツカイセツメイショ 〈エラーメッセージ〉 ヲ ゴランクダサイ	スキャナ (読み取り部) に何らかの異常が発生した。	
	本製品に何らかの異常が発生した。	
セツダン サレマシタ	相手との通信が切断された。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ツウシン エラー	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。 P.147 を参照してください。 特定の相手で発生する。 P.66 を参照してください。
	相手がポーリングモードに設定していません。	相手先のポーリング設定を確認してください。
データカ ノコツタイムス	印刷するデータがメモリーに残っています。	②停止/終了  を押して、もう一度やり直してください。
	パソコンと本製品のデータを転送中に接続されているケーブルが外された。	
トウロク サレテ イマセン	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録されていない。	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録してください。 P.94 、 P.96 を参照してください。
トナーカ アリマセン フロントカバー ヲ アケテ アタラシイトナー ヲ トリツケテクダサイ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
	トナーがありません。	トナーカートリッジを交換してください。 P.135 を参照してください。
ドラムエラー ドラム ヲ トリダシ ドラム ノ アオイ ツマミ ヲ サユニ オウフク サセテクダサイ ツマミ ヲ (▲) ニ モトシテカラ ドラム ヲ イレナオシテ クダサイ	コロナワイヤ (ドラムユニット) が汚れています。	コロナワイヤーを掃除してください。 P.132 を参照してください。
ドラム コウカン ジキデス	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。 P.140 を参照してください。
ハナシチュウ/オウトウナシ	相手先が話中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。 P.147 を参照してください。 特定の相手で発生する。 P.66 を参照してください。
ヒーターカ コウオンデス トリアツカイセツメイショ 〈エラーメッセージ〉 ヲ ゴランクダサイ	本製品の内部が高温になっている。 定着ユニットが高温になっている。	排気口が塞がれていないか確認してください。本製品から20cm以内に障害物があれば取り除いて、電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
ヒーターが ティオンデス トリアツカイセツメイショ くエラーメッセージ ヲ コランカタ サイ	定着ユニットが低温になっている。	電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。
マモナ トナー キレデス	トナーの残りが少ない。	新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。
メモリーが イッパ イデス	メモリーがいっぱいです。	メモリーに蓄積してあるデータを消去してください。 ファクス送信・コピー実行中のとき ④スタート  を押してスキャンしたページを送信もしくはコピーしてください。または、 ⑤停止/終了  を押してからもう一度、試してみてください。 プリント中のとき 解像度を下げてからもう一度、試してみてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（<http://solutions.brother.co.jp/>））のQ&Aをチェックしてください。それでも異常があるときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。 P.21 を参照してください。
		本製品の設定が正しくされていますか。	本製品の設定内容を確認します。 P.64 を参照してください。
		NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。
I S D N 回線※	電話を受けても本製品のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されているか確認します。	確実に本製品に接続します。  かんたん設置ガイド P.8 を参照してください。
		本製品の電源スイッチが On になっていますか。	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1～2 回おきにしか本製品が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
		電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。
			本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合
			- サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 - HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 - 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報のアナログポートに本製品を接続している場合
			- ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報を登録してください。 - サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 - HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 - 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない(電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない)。	相手側ターミナルアダプタの設定を確認します。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合は NTT 故障係(113)へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認します。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
ADSL環境	ファクス送受信ができない(電話はかけることも、受けることもできる)。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合は NTT 故障係(113)へご連絡ください。
	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続(並列接続)していませんか。	ブランチ接続(並列接続)をしないでください。 P.21 を参照してください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでお買い求めになれます。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		
ひかり電話	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。
	電話がかかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。 P.42 を参照してください。
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイが動作しない。	VoIPアダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIPアダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信が来ない。	VoIPアダプタ側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	

こんなときは		ここをチェック	対処方法
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いますか。	本製品をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。 P.66 を参照してください。
	原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	操作パネルをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用します。 P.33 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カーブしていたり、しわになっていませんか。	複写機でコピーしてからファクスをします。
ファクス／コピー	原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせます。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。 P.127 を参照してください。
		電話機コードを正しく接続していませんか。	電話機コードを正しく接続してください。 P.8 を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	コピーが正常な場合 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 コピーが正常でない場合 スキャナ部分を清掃します。 P.131 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。 P.76 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳細内容はNTTの166番にお尋ねください。
		電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。 P.8 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。(ISDN回線の場合)	ターミナルアダプタの設定を確認します。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。 P.41 を参照してください。
	ダイヤルスタートを押しても送信または受信しない。	電話機コードを正しく接続していませんか。	電話機コードを正しく接続してください。 P.8 を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。 P.41 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。(ISDN回線の場合)	ターミナルアダプタの設定を確認します。

こんなときは	ここをチェック	対処方法
送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。 P.21 を参照してください。
送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本製品のスキナが汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	スキナの清掃を行って送信します。 P.131 を参照してください。それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。
リモート起動できない。	リモート起動の設定は「On」になっていますか。	リモート起動番号を「On」にします。 P.89 を参照してください。
	リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。 P.89 を参照してください。
	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 P.85 、 P.106 を参照してください。
受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。  かんたん設置ガイド P.7 を参照してください。
	記録紙がつまっていますか。	本製品内部を確認します。 P.126 を参照してください。
	記録紙がなくなっていないですか。	記録紙トレイを確認します。  かんたん設置ガイド P.7 を参照してください。
	フロントカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉めなおします。
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	コピーが正常な場合 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 コピーが正常でない場合 スキナ部分を清掃します。 P.131 を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	正常なときは相手側のファクススキナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリを確認してもらってください。
本製品が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本製品の「シンセツ ジュシン」が「On」に設定されていませんか。	本製品の「シンセツ ジュシン」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違えて、ファクスの受信トーンで応答することがあります。  を押します。「シンセツジュシン」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。
水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
受信したファクスでページが分割されて2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4 サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。 P.86 を参照してください。

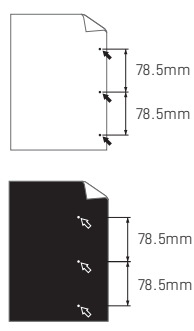
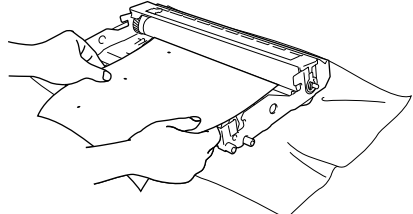
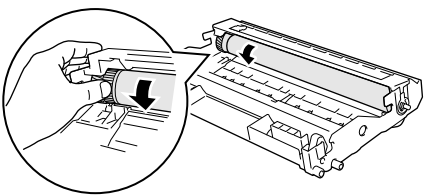
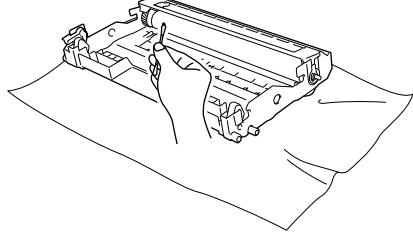
こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
	回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。
	受信時に本製品が応答しない。	適切な受信モードに設定してください。
	○をおして発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
	可能であれば、本製品にダイヤルしてみてください。	本製品を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	本製品に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本製品に接続されている電話機が本製品の外付電話 (EXT.) 端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「ヒョウジュン」になっていませんか。
	送信確認レポートで「ケツカ NG」と印刷される。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本製品のスキヤナが汚れていませんか。
	画質の設定が適切ですか。	スキヤナを清掃してください。 P.131 を参照してください。
	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	スキヤナを清掃してください。 P.131 を参照してください。
	相手側のファクシミリの印字ヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリを確認してもらってください。コピーをとって、本製品が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「ヒョウジュン」になっていませんか。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「ヒョウジュン」になっていませんか。
	送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）付けて送信してください。	安心通信モードの設定を「アンシン」に設定してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かったら、呼び出し音を鳴らします。
	ファクスを本製品に転送できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。
		リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

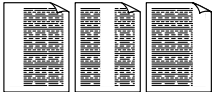
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。 P.121 を参照してください。原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
	色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い。	画質設定とコントラストを調整してください。	画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを1～2上げててください。 P.124 を参照してください。
印刷（プリント）	印刷結果がかすれる。 	トナー節約モードが「On」になっていませんか。	トナー節約モードを「Off」に設定してください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。 P.137 を参照してください。
	印刷の質が悪い。		
	パソコンから印刷できない。 (右の順番に試してみてください。) パソコンから印刷できない。 (右の順番に試してみてください。)	①本製品の電源スイッチがONになっていますか。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	電源スイッチをONにしてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 P.144 「エラーメッセージ」を参照してください。
		②トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。
		③印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。[プリンタ]アイコンを開き、[プリンタ]から[すべてのドキュメントの取り消し]を行ってください。 <Windows Vista®> [スタート]-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[プリンタ]の順にクリックします。 <Windows® XP> [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]の順にクリックします。 <Windows® 2000> [スタート]-[設定]-[プリンタ]の順にクリックします。
		④「通常使用するプリンタ」の設定になっていますか。	[プリンタ]アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックしてチェックを付けます。
		⑤[一時停止]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[印刷の再開]がメニューにある場合は一時停止の状態です。[印刷の再開]をクリックしてください。

印刷(プリント)	こんなときは	ここをチェック	対処方法
	パソコンから印刷できない。 (右の順番に試してみてください。) パソコンから印刷できない。 (右の順番に試してみてください。)	⑥[オフライン]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインにする]がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする]をクリックしてください。
		⑦印刷先(ポート)の設定は正しいですか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[ポート]タブを右クリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑧ USB ケーブルはパソコンと本製品側にしっかりと接続されていますか。	本製品側とパソコン側の両方のUSBケーブルをさし直してください。(USBハブなどを経由しては接続できません。)
		⑨以上の手順を全て確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源スイッチをONにしてみてください。	
		⑩ ①～⑨までを全て確認してもまだ印刷できない場合には、プリンタドライバをアンインストールして、  かんたん設置ガイドに従ってもう一度インストールすることをおすすめします。 <アンインストールの方法> [スタート]-[すべてのプログラム(プログラム)]-[Brother]-[FAX-XXXX]-[アンインストール]の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	本製品のコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。 P.132 を参照してください。
	本製品に給紙できない。	液晶ディスプレイに「キロクシヲ オクレマセン」と表示されていますか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給します。記録紙トレイの記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認します。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにします。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの用紙の枚数を減らしてもう一度試してください。それでも問題が解決しないときは、給紙ローラが汚れている可能性があります。給紙ローラを清掃してください。 P.133 を参照してください。
	使用できる記録紙サイズ。	普通紙、OHP フィルムなどを使用できます。 P.33 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法。	P.126 を参照してください。	

こんなときは	ここをチェック	対処方法
コピーに縦の縞が現れる。	読み取り部と白色のバーが汚れていませんか。	読み取り部と白色のバーをきれいにしてください。 P.131 を参照してください。
	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。 P.132 を参照してください。
印刷されたページに白い線が現れる。 	本製品のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。 P.131 を参照してください。それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。 P.140 を参照してください。
印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。 	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	本製品の内部とドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。コロナワイヤーの青いつまみが元の位置にあることを確認します。 P.132 を参照してください。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。 P.140 を参照してください。スキャナ（読み取り部）の清掃を行うと解決できる場合があります。 P.131 を参照してください。
印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。 	設定した記録紙をセットしていますか。	設定に合った記録紙を使用してください。 P.56 を参照してください。表面が粗い場合や用紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が見え、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。 P.140 を参照してください。
印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。 	本製品のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	スキャナウィンドウの清掃をしてください。 P.131 を参照してください。それでもトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。 P.140 を参照してください。
	推奨している記録紙をセットしていますか。	仕様に合った記録紙を使用してください。 P.33 を参照してください。

印刷（プリント）

こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。 	感光ドラムが汚れていませんか。	数ページ印刷すると、この問題が解決されることがあります。数ページ印刷しても解決されない場合は、汚れが感光ドラムに付着していることがあります。以下の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ①印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探します。  ②ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れがついている場所を手前にもってきます。  ③感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取ります。  【ご注意】 ・感光ドラムに傷を付けないよう注意してください。カッターやボールペンなど先のとがったものは使用しないでください。 ・ドラムが傷ついている場合は新しいドラムユニットに交換してください。 P.139 を参照してください。
ページ全体が黒く印刷される。 	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。P.132 を参照してください。また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでください。清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ドラム コウカンジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.140 を参照してください。

こんなときは	ここをチェック	対処方法
ページに何も印刷されない。 	液晶ディスプレイに「トナーが アリマセン」が表示されていま せんか。 スキャナウィンドウに、裂け た紙片が残っていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。 P.137 を参照してください。 スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っ ていないことを確認してください。
印刷されたページの中心やど ちらかの端に汚れが現れる。 	本製品を平らなところに設置 していますか。 本製品のスキャナウィンドウ が汚れていませんか。	本製品が平らな面に設置されていることを 確認してください。トナーカートリッジを 取り付けたままドラムユニットを取り外し ます。トナーカートリッジとドラムユニッ トを左右にゆっくりと振り、本製品に取り 付けてください。 スキャナウィンドウを柔らかいきれいな布 で拭き取ると、汚れたページの問題を解決 できることがあります。P.131 を参照して ください。清掃後も汚れたページが発生し、 液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキ デス」と表示される場合は、ドラムユニッ トを新しいものに交換してください。P.140 を参照してください。湿度、高温等の特定 の環境条件がこの問題の原因になることが あります。
背景がグレイになる。 	推奨している記録紙をセット していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.33 を参照してください。本製品が高 温・高湿の場所に設置されていたことが原 因の場合があります。いずれも該当しない ときは、新しいトナーカートリッジ、ドラ ムユニットに交換してください。P.137、 P.140 を参照してください。
ゴーストイメージが印刷され たページに現れる。 	推奨している記録紙をセット していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.33 を参照してください。粗い表面や 厚い記録紙が原因になることがあります。い ずれも該当しないときは、新しいトナーカ ートリッジ、ドラムユニットに交換してくだ さい。P.137、P.140 を参照してくださ い。
斜めに印刷される。 	記録紙が正しくセットされて いますか。	記録紙が正しくセットされているか確認し てください。また、記録紙ガイドがセット した用紙に正しく合わされているか確認し てください。
カールしたり波打って印刷さ れる。 	推奨している記録紙をセット していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.33 を参照してください。高温・高湿 の場所に保管されていた記録紙を使用する と、カールしたり波打って印刷されます。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
印刷 (プリント)	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。 	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。記録紙を 180 度回転させてセットし直して印刷してみてください。
	印字面に触れると汚れる。	記録紙の設定より厚い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。 P.56 を参照してください。
	記録紙がまるまって排出される。	記録紙の設定より薄い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。 P.56 を参照してください。
ソフト	Windows®		
	「LPT1:への書き込みエラー」か「BRMFC:への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源スイッチは On になっていますか。	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
	BRMFC:、BRUSB:、USBXXX:への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナーがアリマセン」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。
	Macintosh®		
	本製品がセレクトに表示されない。	本製品の電源スイッチは On になっていますか。	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
		USB インターフェースが正しく接続されていますか。	USB インターフェースを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。  P.15 を参照してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されている Macintosh® のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクトで選択されているかを確認してください。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。また、セレクトを選択してください。
	Windows® または Macintosh®		
	「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	プリンタケーブルをパソコンに直接接続していますか。	プリンタケーブルは他の周辺機器 (Zip ドライブ、外付 CD-ROM ドライブ、スイッチボックス等) を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージを表示していませんか。	原因となりそうな領域をチェックしてください。(win.ini ファイルの Load=、Run = コマンド行とスタートアップグループなど)
		パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがパソコン起動時に自動で実行する状態になっていませんか。	パソコンの製造元に、パソコンの BIOS のパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	プリンタケーブルが正しく接続されていますか。	プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をパソコンが認識していません。 プリンタケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーがいっぱいデス」というエラーメッセージが表示される。	解像度の設定が高くありませんか。	プリンタの解像度を下げてください。文書を簡単にしてもう一度印刷します。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数減らします。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。  かんたん設置ガイド P.15 を参照してください。
その他		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。
	本製品に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって、改善される場合があります。

上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

8章

付 録

文字入力をする.....	160
バックアップ用バッテリーのリサイクルについて	161
バックアップ用バッテリーの取り外し方	161
機能一覧	162
本製品の仕様	168
ファクシミリ	168
プリンタ	169
電源と使用環境	169
消耗品	169
主な仕様	170
パソコン環境〔Windows®〕	170
パソコン環境〔Macintosh®〕	171
用語集	172
索 引	175
ご注文シート	181
アフターサービスのご案内	裏表紙
商標について	裏表紙

文字入力をする

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
①	アイウエオアイウエオ 1
② ^カ	カキクケコ ABC 2
③ ^サ	サシスセソ DEF 3
④ ^タ	タチツテトツ GHI 4
⑤ ^ナ	ナニヌネノ JKL 5
⑥ ^ハ	ハヒフヘホ MNO 6
⑦ ^マ	マミムメモ PQRS 7
⑧ ^ヤ	ヤユヨヤユヨ TUV 8
⑨ ^ワ	ラリルレロ WXYZ 9
⑩ ^ワ	ワラン * °ー0
⑪ ^{記号 1}	(スペース) ! " # \$ % & ' () * + , - . / €
⑫ ^{記号 2}	: ; < = > ? @ [] ^ _

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	⑩ ^ワ ~ ⑨ ^ワ を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	⑩ ^ワ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「-」（ハイフン）で表示されます。
文字を削除する	⑪ ^{記号 1} を押すとカーソルの位置から最後まで文字をすべて削除する

文字を変更する	⑪ ^{記号 1} を押してカーソルを戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	⑪ ^{記号 1} を押してカーソルを右に移動させる (文字のときは⑪ ^{記号 1} (2回押) でスペースを入れることができます)
記号を入力する	入力したい記号ボタン (⑪ ^{記号 1} または ⑫ ^{記号 2}) を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	⑪ ^{記号 1} を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確認させる	⑫ ^{記号 2} を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
③ ^サ を3回押す	ス
⑪ ^{記号 1} を1回押す	ス _
③ ^サ を3回押す	スス
⑩ ^ワ を4回押す	スス *
② ^カ を2回押す	スス * キ
⑪ ^{記号 1} を2回押す	スス * キ _
② ^カ を4回押す	スス * キ ケ
① ^ア を2回押す	スス * キ ケイ
② ^カ を5回押す	スス * キ ケイコ

バックアップ用バッテリーのリサイクルについて

- ・本製品にはニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれているバッテリーを取り外してください。
- ・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリーの取り外し方

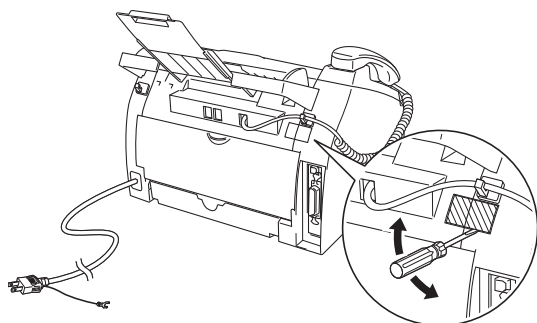
注意

■リサイクル時のご注意

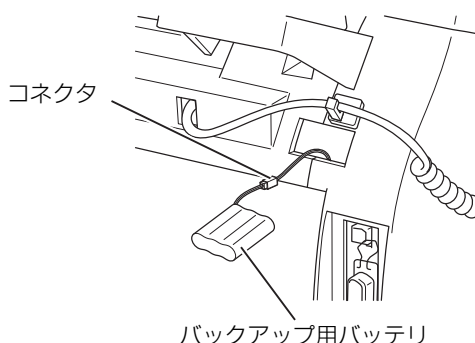
- ・コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- ・外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- ・電池は分解しないでください。



- 1 バッテリーの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に倒してバッテリーカバーのツメを折り、カバーを開ける



2 バッテリーのコネクタを取り外す



補足

- 使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問合せは、下記をお願いします。

ご家庭でご使用の場合

- ・一般社団法人JBRC
(電話：03-6403-5673)
(ホームページ：http://www.jbrc.com)
- ・充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
※詳細は、電池工業会ホームページ
(http://www.bai.or.jp/) をご覧ください。
- ・プラザ販売(株) プラザコールセンター(お客様相談窓口)
※プラザコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

事務所でご使用の場合

- ・プラザ販売(株) 東京事業所
〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-11
(電話：03-3274-6911)
- ・プラザ販売(株) 関西事業所
〒564-0045 大阪府吹田市金田町28-21
(電話：06-6310-8863)
- ・問合せ先：一般社団法人JBRC
(電話：03-6403-5673)
(ホームページ：http://www.jbrc.com)
- ・プラザ販売(株) プラザコールセンター(お客様相談窓口)
※プラザコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
0. ショキ セッテイ	1. ジュシンモード	—	FAX=ファクス センヨウ F/T=ジドウキ リカエ ルス=ソツケ ルスデン TEL=デンワ	受信モードを設定します。	P.49
	2. トケイセット	—	—	現在の日付・時刻を設定します。	P.43
	3. ハッシンモト トウロク	—	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.44
	4. カイセン シュバツ セッ テイ	—	プッシュ カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.42
	5. ダイアルト ーン セッテイ	—	ケンチ スル ケンチ シナイ	ダイヤルトーン検知を設定します。	P.66
	6. トクベツカイ セン タイオウ	—	イッパン I SDN PBX	回線種別を設定します。	P.66
	7. ナンバー ディスプレイ	—	On Off ソツケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.64
	8. コジジョウ ホウ クリア	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	P.142
		2. キャンセル	—	設定メニューに戻ります。	
	9. キノウセッ テイ リセット	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.142
		2. キャンセル	—	設定メニューに戻ります。	

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
0. ショキ セッ テイ	0. ヒョウジ ゲンゴ (Local Language)	—	<u>ニホンゴ</u> English	液晶ディスプレイに表示される 言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.31

* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. キホン セッ テイ	1. モード タイマー	—	0 ビョウ <u>30 ビョウ</u> 1 フン 2 フン 5 フン Off	ファクスモードに戻る時間を設 定します。 「Off」を選択すると、最後に使っ たモードを保持します。	P.40
	2. キロクシ タイプ	—	<u>フツウシ</u> フツウシ(アツメ) アツガミ チョウアツガミ OHPフィルム サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録 紙のタイプを設定します。	P.56
	3. キロクシ サ イズ	—	<u>A4</u> B5 A5 A6 USレター	記録紙トレイにセットする記録 紙のサイズを設定します。	P.56
	4. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ <u>チュウ</u> ダイ	着信音量を設定します。	P.57
		2. ボタンカク ニン オンリョ ウ	Off ショウ <u>チュウ</u> ダイ	操作パネルのボタンを押したと きの音量を設定します。	P.57
		3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ <u>チュウ</u> ダイ	スピーカーの音量を設定しま す。	P.58
		4. ジュワ オン リョウ	<u>ショウ</u> ダイ	受話音量を設定します。	P.58

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. キホン セッ テイ	5. ショウエネ モード	1. トナー セツヤク モー ド	0n <u>Off</u>	トナーの使用量をセーブします。 「On」に設定すると、印字結果 が薄くなります。	P.59 
		2. スリープ モード	00 : <u>05</u> : 99 (Off)	スリープ状態になるまでの時間 を0～99分の間で設定します。 消費電力を節約することができ ます。	P.59 
	6. ガメンソ コ ントラスト	—	ウス <u>コ</u>	液晶ディスプレイのコントラ ストを調整します。	P.60 
	7. セキュリティ	1. セキュリ ティソウサロ ク	—	パスワードにより、コピーや ファクスなどの機能を制限しま す。受信したファクスやプリン トは、印刷せずにメモリーに蓄 積されます。	P.61 
		2. セキュリ ティセッテイ ロック	—	パスワードにより、本製品の一 部の設定を変更できないように ロックします。	P.62 

ファクス機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	1. ジュシンセッ テイ	1. ヨビダシ カ イスウ	0 : <u>4</u> : 10	「ファクス専用モード」と「自動 切替モード」のとき、着信して から自動受信するまでの呼出回 数を0～10回の間で設定しま す。	P.50 
		2. サイ ヨビ ダシ カイスウ	<u>08</u> 15 20	「自動切替モード」のとき、本製 品が着信後に鳴る呼出音の回数 を設定します。	P.50 
		3. シンセツ ジュシン	0n <u>Off</u>	ファクスを自動受信する前に本 製品と接続されている電話を とってしまった場合でも、本製品 の  を押さずに、ファクスを受 信する機能を設定します。	P.88 
		4. リモート ジュシン	0n (#51) <u>Off</u>	本製品と接続されている電話機 からファクスを受信させるとき に設定します。	P.89 

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	1. ジュシンセッ テイ	5. ジドウシュ クショウ	<u>On</u> Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.86
		6. インサツ ノウド	▼ -■■■■+ ▲	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.86
		7. ポーリング ジュシン	<u>ヒョウジュン</u> キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.90
	2. ソウシンセッ テイ	1. ゲンコウ ノウド	<u>ジドウ</u> ウスク コク	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.77
		2. ファクス ガシツ	<u>ヒョウジュン</u> ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。 ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.76
		3. タイマー ソウシン	シテイ ジコク= 00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.84
		4. トリマトメ ソウシン	<u>On</u> <u>Off</u>	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.84
		5. リアルタイム ソウシン	コンカイノミ: <u>On</u> コンカイノミ: Off <u>On</u> <u>Off</u>	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.80
		6. ポーリング ソウシン	<u>ヒョウジュン</u> キミツ	ポーリング送信を設定します。	P.81
		7. ソウフショ	コンカイノミ: <u>On</u> コンカイノミ: Off <u>On</u> <u>Off</u> プリント サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.78
		8. ソウフショ コメント	-	送付書のコメントを作成します。	P.79
		9. カイガイソ ウシン モード	<u>On</u> <u>Off</u>	海外にファクスを送るときに設定します。	P.83
	3. デンワチョウ トウロク	1. デンワチョ ウ/ワンタッチ	-	ワンタッチボタン1～20にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.94

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	3. デンワチョウ トウロク	2. デンワチョウ/ タンシュク	—	3桁の短縮番号(001～200)にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.96
		3. デンワチョウ/ グループ	—	複数の相手をグループ(1～8)として登録します。	P.98
	4. レポート セ ッテイ	1. ソウシン レポート	On On+イメージ Off Off+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.114
		2. ツウシン カンリ カンカ ク	レポートシュツ リョク シナイ 50 ケン ゴト 6 ジカンゴト 12 ジカンゴト 24 ジカンゴト 2 カ ゴト 7 カ ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.115
	5. オウヨウ キ ノウ	1. テンソウ/メ モリージュシ	Off ファクス テン ソウ デンワ ヨビダシ メモリー ジュシ ン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.106
		2. アンショウ バンゴウ	アンショウバンゴ ウ:---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	P.107
		3. ファクス シュツリョク	—	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使います。	P.106
	6. ダイヤルセイ ゲン キノウ	1. チョクセツ ニュウリョク	オン 2ド ニュウリョク オフ		P.75
		2. ワンタッチ ダイヤル	オン 2ド ニュウリョク オフ		P.75
		3. タンシュク ダイヤル	オン 2ド ニュウリョク オフ		P.75
	7. ツウシン マ チ カクニン	—	—	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.85
	0. アンシン ツ ウシン モード	—	コウソク ヒョウジュン アンシン	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.66

コピー機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
3. コピー	1. コピー ガシツ	—	テキスト シャシソ ジドウ	画質を調整します。	P.124 
	2. コントラスト	—	▼ -□□■□□+ ▲	コントラストを調整します。	P.124 

製品情報

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
4. セイヒソ ジョウホウ	1. シリアル No.	—	—	シリアル No. を表示します。	P.141 
	2. インサツマイスウ ヒョウジ	—	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス/リスト	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.141 
	3. ドラム ジュミョウ	—	—	ドラム寿命までの残り % が表示されます。	P.141 

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T グループ 3 (Super G3)
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG* ¹
通信速度	33600bps (自動フォールバック付き)
原稿サイズ幅	最大：257mm 最小：147.3mm
原稿サイズ長さ	最大：364mm 最小：100mm
有効読み取り幅	252mm
記録紙トレイ枚数	約 250 枚 (80g/m ²)
記録紙サイズ	A4 (幅 210mm×長さ 297mm)
電送時間	2 秒台 * ²
グレースケール	64 階調
液晶ディスプレイ表示	16 桁× 1 行
読み取り方式	CIS による平面走査
代行受信枚数	最大 1500 枚 * ³
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査：3.85 本 /mm (標準) 7.7 本 /mm (ファイン / 写真) 15.4 本 /mm (S. ファイン)
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー (タイマー：受信のみ)
適用回線	一般電話回線

*1: JBIG は A4 サイズまでの紙のみサポートしています。

*2: A4 判 700 字程度 of 原稿を標準的画質 (8 ドット× 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

*3: A4 判 700 字程度 of 原稿を標準的画質 (8 ドット× 3.38 本 /mm) で蓄積した場合 (JBIG 圧縮時)

プリンタ

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機 Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機
対応 OS	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP/XP Professional x64 Edition Windows NT® 4.0 WS Windows Vista® Mac OS® 9.1 ~ 9.2/OS X 10.2.4 以降
インターフェース	IEEE1284 準拠パラレルインターフェース Full-Speed USB2.0 インターフェース
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	600 × 600 dpi
印刷速度	20 枚 / 分

電源と使用環境

使用環境	温度：10 ~ 32.5 °C 湿度：20 ~ 80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V 50/60Hz
消費電力※	待機時：80W 以下 ピーク時：840W 以下 スリープ時：10W 以下
稼働音	待機時：30dB 以下 動作時：53dB 以下
メモリー容量	32MB
外形寸法	374（横幅）× 374（奥行き）× 262（高さ）mm
質量（トナー／ドラムを除く）	約 7.35kg

※：電源スイッチがOFFでも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品

トナーカートリッジ (TN-25J)	製品付属：約 1500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合※） 約 2500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合※）
ドラムユニット (DR-20J)	約 12000 枚※

※：印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

補足

外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

パソコン環境〔Windows®〕

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社サポートサイト（<http://solutions.brother.co.jp>）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
32ビット（x86）プロセッサ
32MB（推奨128MB）以上のシステムメモリー
- Windows® 2000 Professional
32ビット（x86）プロセッサ
64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリー
- Windows® XP Home
32ビット（x86）プロセッサ
128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリー
- Windows® XP Professional
32ビット（x86）プロセッサ
128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリー
- Windows® XP Professional x64 Edition
64ビット（x64）プロセッサ
256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリー
- Windows NT® 4.0（SP6以降）
32ビット（x86）プロセッサ
128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリー
- Windows Vista®
32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
- 512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリー

ディスク容量

300MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
パラレル

補 足

- USBケーブル、パラレルケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0 を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

パソコン環境 (Macintosh®)

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社サポートサイト (<http://solutions.brother.co.jp>) で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® 9.1～9.2/32MB (推奨64MB) 以上
Mac OS® X 10.2.4～10.4.3/128MB (推奨256MB以上)
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB (推奨1GB以上)

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

280MBの空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

USB

- OS対応表
お使いいただいているMac OS®のバージョンによって本製品で利用できる機能が異なります。

	Mac OS®	Mac OS® X
	9.1 ～ 9.2	10.2.4 以降
プリンタ	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	×	○

補足

- USBケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.4までをお使いの場合は、Mac OS® 9.1以降へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

あ

- **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。
- **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。
- **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。
- **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。
- **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

- **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルス数を数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **機密ボーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。
- **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。
- **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

- **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて受話器を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。
- **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● スプリッタ

ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● セキュリティ印刷

パソコンから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製品のメモリーにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

● セキュリティ操作ロック

ユーザーごとにパスワードを割り当て、コピー / スキャナ / ファクス送受信 / プリンタの利用を制限できる機能です。

● ソートコピー

複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● タイマー送信

指定した時刻に送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。

● タスクバー

画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● 手差しスロット

本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙を設定できるスロットです。セットできる記録紙について詳しくは「記録紙について」のページを参照してください。

● 定着ユニット

紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品のディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

● デバイス

ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 電話呼び出し機能

ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● トナー

炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● トナーセーブ

使用するトナーを節約して印刷する機能です。

● ドライバ

本製品に付属されているソフトウェア。パソコンと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタドライバや PC-FAX 機能などを持っています。

● 取りまとめ送信

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● ナンバー・ディスプレイサービス

「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● パラレルプリンタケーブル

複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本製品を接続します。

● ファクス転送

ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタドライバ

アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ボーリング通信

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信

記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リダイヤル

相手先が話し中など、時間をあけて再びダイヤルをすることです。

● リモート受信

本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン (ログイン)

パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in 1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF

自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本製品に送ります。

● ADSL

通常の電話回線 (アナログ回線) で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ (,) を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。

● IP フォン

インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN

NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INS ネット 64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線 2 本と同様な使い方ができます。

● MFC/DCP ドライバ

本製品に付属されているソフトウェア。プリンタドライバなどを持っています。

● OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ (IBM, PC/AT) の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC-FAX

パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX のアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf 形式)

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● Windows® 98/98SE/Me/2000/XP

Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 98 年、00 年 (= Millennium edition)、98SE は 99 年、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT®

Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

● Windows Vista®

Microsoft 社が開発した OS で、07 年に発売されました。

索引

■ 索引の使いかた

ユーザーズガイド（HTML版）では単語を入力して検索する機能があります。詳しい使い方は「ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作」P.23を参照してください。

数字

2 in 1	123
4 in 1	123

A

ADF（自動原稿送り装置）を使って コピーする	118
ADSL（タイプ1）環境に接続する	53

I

ISDN 回線に接続する	52
--------------------	----

N

N in 1 コピー	123
------------------	-----

あ

暗証番号の設定	107
安心通信モードを設定する	66,67

い

印刷可能範囲	34
印刷結果が濃すぎるか薄すぎる	152

え

液晶ディスプレイ	29
液晶ディスプレイのコントラストを調整する	60
液晶ディスプレイの特徴	31
液晶ディスプレイの表示言語を切り替える	31
エラーメッセージ	144

お

オンフックボタン	28
----------------	----

か

海外送信	83
外出先からファクスを取り出す	110
外出先から本製品を操作する	107
回線種別	41
拡大・縮小コピー	120
各部の名称	30
画質の設定変更	124
画質ボタン	28
画質を設定する（一時的に変更する）	76
紙づまりについて	126

き

機能案内リスト	113
基本設定機能	163
基本設定を変更する	56
機密ポーリング受信する	91
機密ポーリング受信の設定	91
機密ポーリング送信をする	82
記録紙調整ガイド	37
記録紙の規格	33
記録紙のサイズを選ぶ	56
記録紙のタイプを選ぶ	56

く

グループダイヤルを登録する	98
---------------------	----

け

原稿濃度を設定する（ファクス送信）	77
原稿の読み取り範囲	38

こ

公衆回線に接続する	51
故障かな？と思ったら	147
個人情報を消去する	142
コピー機能	167
コピーの画質を設定する	121
困ったときには	143
コロナワイヤー	132
コントラストの調整（コピー）	121

さ

再ダイヤル	74
再呼出回数を設定する	50

し

時刻指定ポーリングの設定	91
自動切替モード	46
自動的に縮小する	86
シフトボタン	28
写真モード	76
受信モード	49
手動でファクスを受信する	87
受話音量を設定する	58
順次ポーリング受信する	90
使用できる記録紙	34
初期状態に戻す	142
初期設定機能	162
初期設定変更	124
初期設定変更（コントラスト）	124

初期設定変更（画質）	124
親切受信で受信する	88

す

スーパーファインモード	76
スキャナウィンドウの清掃	131
スキャナ（読み取り部）の清掃	131
スタートボタン	29
スタックコピー	122
スピーカー音量を調節する	58
スリープモード	59

せ

設定内容リスト	114
セットできる記録紙枚数	34

そ

操作パネル	28
送信待ちファクス解除	85
送信レポート	113
送信レポートの出力設定	114
送付書	78
送付書のオリジナルコメントを登録する	79
送付書を付けて送信する	78
ソートコピー	122
外付電話機からファクスを受信させる	89
外付留守電モード	47

た

タイマー送信	84
タイマー通信レポート	112
タイマーポーリング受信	91
ダイヤルトーン検出の設定をする	66
ダイヤルのしかた	72
ダイヤルボタン	29
短縮ダイヤルを登録する	96
短縮ダイヤルを変更する	97

ち

着信音量を調節する	57
着信履歴リスト	114
着信履歴を検索する	100

つ

通信管理レポート	113
通信管理レポートの出力間隔	115

て

停止／終了ボタン	29
手差しスロット	37
デジタルテレビに接続する場合	54
電気の節約モードに入る時間を設定する	59

電話帳から送信する	73
電話帳 / 短縮ボタン	29
電話帳リスト	113
電話モード	48
電話呼び出し機能	102
電話呼び出し機能の設定	105
電話呼び出し機能の流れ	104

と

動作がおかしいときは （修理を依頼される前に）	158
同報送信	79
同報送信レポート	112
特別回線対応を設定する	66
時計セット	43
トナーカートリッジ	134, 135
トナーを節約する	59
ドラムユニット	134
ドラムユニットの交換	139
取りまとめ送信	84

な

内線電話として接続する	55
ナビゲーションキー	29, 32
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	64
ナンバー・ディスプレイの設定をする	64

は

バックアップ用バッテリーの取り外し方	161
バックアップ用バッテリーの リサイクルについて	161
発信元登録	44

ひ

標準ポーリング受信する	90
標準ポーリング送信をする	81
標準モード	76

ふ

ファインモード	76
ファクス機能	164
ファクス専用モード	45
ファクス送信でセットできる原稿サイズ	38
ファクス送信を途中で止める	71
ファクス転送の設定	103
ファクス転送の流れ	102
ファクスを手動で送信する	71
ブッシュ回線	41

ほ

ポーリング受信の設定	90
ポーリングレポート	112

ボタン確認音量&ブザー音量	57
ボタン確認音量を変える	57
本製品の仕様	168

め

メニューボタン (ナビゲーションキー)	29,32
「メモリーガイッパイデス」と 表示されたときは	119
メモリー受信を設定する	106
メモリーに入ったファクスを出力する	106
メモリー代行受信	87

も

モード選択	29
モードタイマーを設定する	40
文字入力	160

よ

用語集	172
呼出回数を設定する	50

り

リアルタイム送信	80
リサイクル協力店	161
リモート受信	89
リモート受信設定のしかた	89
リモコンアクセス	107
リモコンコード	109

わ

ワンタッチダイヤルを登録する	94
ワンタッチダイヤルを変更する	95
ワンタッチボタン	28

—〈キリトリ線〉—

リモート アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ビピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときは、「ビビビッ」という音が聞こえてからもう1度やり直してください。

②

—〈キリトリ線〉—

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリー受信を解除 (※1)	951
ファクス転送に設定 (※2)	952
電話呼び出しに設定 (※2)	953
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号+##
メモリー受信を設定	956
ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック (※3)	971

③

操作内容

ボタン操作

受信モードの 変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

- ※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
 ※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、
 呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
 ※3 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを
 受信しています。「ビビビッ」という音が聞こえたら、
 ファクスメッセージを受信していません。

④

ご注文シート

- ・ 消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
- ・ FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
- ・ 配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
3,000円未満の場合は350円の配送料を頂きます。(代引き手数料は全国一律無料)
- ・ 納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- ・ 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

<代引き> ご注文後2～3営業日後の商品発送

※ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

<お振込（銀行・郵便）> ご入金確認後2～3営業日後の商品発送

- ※ 代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい)
- ※ 振込手数料はお客様負担となります。

<クレジットカード> カード番号確認後2～3営業日後の商品発送

※ カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ

インターネット：<http://direct.brother.co.jp/shop/>

携帯サイト：右の二次元コードにアクセス

FAX：052-825-0311

：0120-118-825

(土・日・祝日、弊社長期休暇を除く)

9：00～12：00、13：00～17：00)

振込先 口座名義：ブラザー販売株式会社 ダイレクトクラブ

三井住友銀行 上前津（カミマエツ）支店 普通6428357

ゆうちょ銀行 振替口座番号 00860-1-27600



<http://direct.brother.co.jp/>

へキトリ線

お客様ご住所 〒

お名前 TEL FAX

お支払い方法 代引き・カード・銀行前振込

カード種類 ①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNO

カード名義人名 有効期限 年 月

商品名	コード	単価（税込）	ご注文数	金額
トナーカートリッジ	TN-25J	7,875 円		
ドラムユニット	DR-20J	12,600 円		
配送料および消費税は変わる可能性があります。(消費税：2008年4月現在)			合計	

- トナーカートリッジとドラムユニットは用途が異なる消耗品で、分離可能な一体型となっています。消耗品交換時は、交換メッセージに従い、必要な商品をご購入ください。
- ブラザーサービスパック・年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧ください。

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

●【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）】

ご質問と障害に関するご相談

TEL: ☎ 0120-143-410

電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間: 月～金 9:00～20:00

土 9:00～17:00

日曜日およびブラザーコールセンターの休日は休みとさせていただきます。

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

お客様相談窓口の情報は下記のサポートサイトにてご確認ください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）:

<http://solutions.brother.co.jp/>

オンラインユーザー登録:

<https://myportal.brother.co.jp/>

● 消耗品ご注文窓口

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ

〒467-8577 名古屋市長瑞穂区苗代町15-1

TEL: ☎ 0120-118-825

（土・日・祝日、弊社長期休暇を除く

9:00～12:00 13:00～17:00）

FAX: 052-825-0311

ホームページ: <http://direct.brother.co.jp/shop/>

- ・純正消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- ・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。



〒467-8561

愛知県名古屋市長瑞穂区苗代町15-1

ブラザー工業株式会社

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。

商標について

Windows®98の正式名称は、Microsoft®Windows®98 operating system です。

Windows®98SEの正式名称は、Microsoft®Windows®98 Second Edition operating system です。

Windows®2000 Professionalの正式名称は、Microsoft®Windows®2000 Professional operating system です。

（本文中ではWindows®2000と表記しています。）

Windows®Meの正式名称は、Microsoft®Windows®Millennium Edition operating system です。

Windows NT®Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft®Windows NT®Workstation operating system Version 4.0 です。

（本文中ではWindows NT 4.0と表記しています。）

Windows®XPの正式名称は、Microsoft®Windows®XP Professional operating system およびMicrosoft®Windows®XP Home Edition operating system です。

Windows®XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft®Windows®XP Professional x64 Edition operating systemです。

Windows Vista®の正式名称は、Microsoft Windows Vista®operating systemです。

本文中では、OS名称を略記しています。

Microsoft、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Macintosh、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

©2008 Brother Industries, Ltd.